

令和8年度 第1回TDPFコミュニティイベント

令和8年6月11日（木曜日）

本日の次第

| | | | |
|---|-----|-------------------|-------------------------------------|
| 1 | | 開会挨拶 活動概要 | 東京都デジタルサービス局 |
| 2 | 第1部 | 会員様による ピッチプレゼン | 国立大学法人電気通信大学 五十嵐 賢太郎 氏 |
| | | | 東京海上スマートモビリティ株式会社 児島 慎也 氏 |
| | | | 板橋区 都市整備部 都市計画課 藤江 孝行 氏 |
| | | | 渋谷区 産業観光文化部 グローバル拠点都市推進課 高橋 雄太 氏 |
| | | | 東村山市 地域創生部 シティセールス課 阿部 拓海 氏 |
| 3 | 第2部 | 交流会（現地のみ） | |

東京都デジタルサービス局より 開会挨拶・活動概要のご説明

TDPFの存在意義

私たちの目的は、ただの連携ではありません。

1 私たちの目的

都民の皆様に「付加価値」を届けること

→ 安全・安心、便利、快適な都市の実現

2 その源泉

TDPFのコアコンピタンスは、

会員の皆様＝コミュニティそのもの

3 事務局の使命

会員の皆様に便益を提供すること

→ マッチング機能 + HUB機能

4 ネットワーク効果

集まるほど価値・効果が高まる

→ まだ会員でない方、ぜひ入会を。会費無料です。

TDPFとは、“人と人がつながることで価値を生み出す場”です。

事務局の使命とお願い

皆様の価値を最大化すること —— それが事務局の役割です。

① マッチング機能

データ × ソリューション・AI × エリア

- ▶ 会場のマッチング・サポーターに
お気軽にお声がけください
- ▶ イベント終了後もお気軽にご相談を
(こんな会員を紹介してほしい等)

② HUB機能

関連事業へのお繋ぎ

- ▶ スマートサービス
- ▶ ハッカソン
- ▶ TIB (Tokyo Innovation Base)
- ▶ その他関連事業 etc.

ネットワーク効果 —— 人が集まるほど、価値は高まる。

- ▶ 未入会の方 → ぜひご参加ください (会費は無料です)
- ▶ 会員の皆様 → データ (プロフィールで結構) をご紹介ください

TDPFは、皆様一人ひとりの力で価値が高まる場です。
本日もぜひ、新たなつながりを持ち帰っていただければと思います。

TDPFの現在地と各種サービスについて

設立

令和6年1月

会員数

400者

「会員プロフィール」や「活用事例」
を通じて、情報発信が可能

TOKYO
DATA
PLATFORM

東京データプラットフォーム

会員プロフィール詳細

会員情報

一般財団法人GovTech東京
業種：公務（他に分類されるものを除く）

情報技術で
行政の今を
首都から未

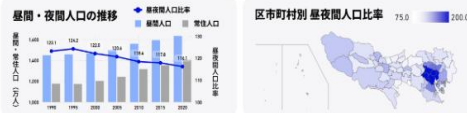
GovTech東京は、多様なパー
ットフォームとして、2023年
第1回（10/14）での導入です。

活用事例詳細

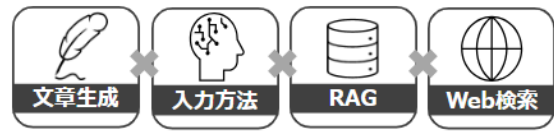
25/03/05 12:36:56

令和2年国勢調査による東京都の昼間人口

令和2年国勢調査による東京都の昼間人口



【TDPF AIIエージェント】



そんな会員がいる
なんて知らなかった！

ニーズにあったデータや
ソリューションを簡単に
探せる！

AIによる
最適マッチングの提案

ブース展開・交流会により
会員間のマッチングを促進



パートナー・協業先との出会いや新たな取組・ソリューションを生み出す場へ

公募のご案内（データ駆動型サービス創出事業）

目的

民間・行政データの活用により、防災等の公共目的に寄与し、都民の皆様が効果を実感できるスマートサービスを創出

募集要件

- 防災等の**公共目的に資するサービスを創出**する取組であること。
- サービスの社会実装を通じて、都の**スマートシティを支えるデータ利活用・流通を推進**するプロジェクトであること。

公共目的に資する分野の例



公募のご案内（データ駆動型サービス創出事業）

公募期間

令和8年6月上旬～ 令和8年7月上旬

質問票
受付期間

公募開始日 ～ 令和8年6月中旬まで

審査・選定

令和8年7月上旬 ～ 令和8年8月上旬まで

プロジェクト実施期間
(予定)

令和8年8月 ～ 令和9年3月

成果報告時期
(予定)

令和9年3月

※詳細は近日中にプレスリリースにて公表予定

令和7年度採択プロジェクト

AI×データが創る道路マネジメントモデル構築プロジェクト

実施主体：東京海上スマートモビリティ株式会社

災害廃棄物から都市機能を守る産官学連携プロジェクト

実施主体：国立大学法人電気通信大学

フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト

実施主体：株式会社コア

データが支える「ゼロ次予防」に基づく健康促進プロジェクト

実施主体：日本電気株式会社

データ活用で引き出す、地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

実施主体：一般社団法人港区観光協会

本日より発表を
いただきます！

新機能「TDPF AI」のご紹介

TDPF AIの機能紹介

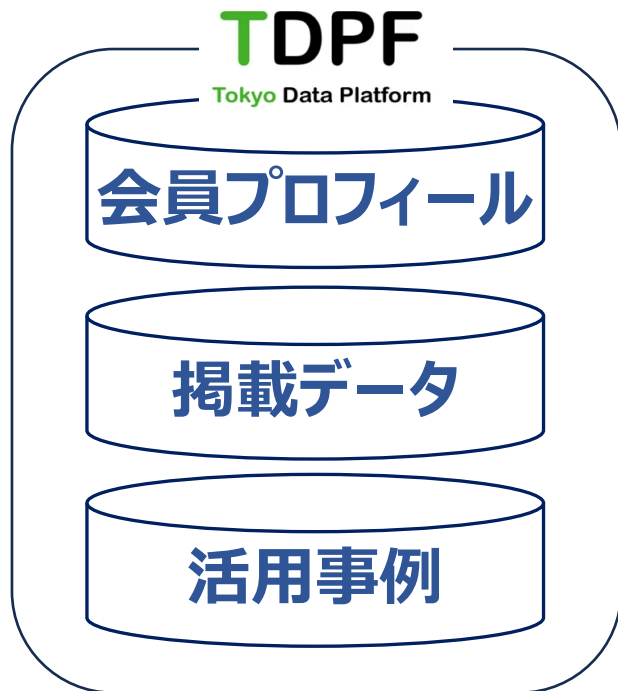
会員プロフィール・掲載データ・活用事例 ご登録のお願い

ぜひお持ちの情報をポータルサイトにご登録ください

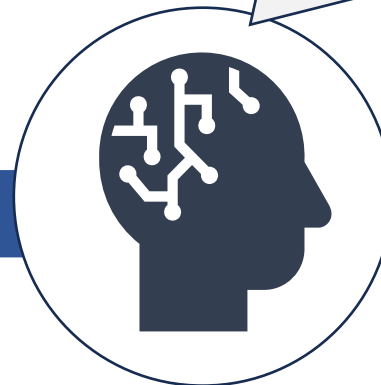
データ登録

探索

マッチング



関連のある会員・データは
こちらです



TDPF AI



事務局もマッチング支援を実施

TDPFの掲載データについて



- 株式会社アーバンエックステクノロジーズ

走行車両の映像をAIで解析し、東京都品川区内の道路損傷箇所を自動検知した結果データ

- アールイー株式会社

1. 東京都産野菜の品目ごとの流通データ
2. 地域別家庭用廃油回収ポテンシャルのサンプルデータ

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損保が提供するテレマティクス保険を通じて収集された自動車走行データ

- 株式会社Agoop

スマホアプリから取得したGPSなどの位置情報を秘匿化・統計加工した位置情報ビッグデータ

会員の皆様の
掲載データは
TDPFの公式HPにて
閲覧可能です！

データの提供形態（メタデータの掲載）について

[トップページ](#) > [カタログ一覧](#)

カタログ一覧

カタログを検索する

▶ フリーワードで検索する (タイトル/会員名/概要)

| | |
|----------|---|
| 会員名 | 東京都デジタルサービス局 |
| タイトル | スタートアップ・産業動向の分析データ |
| カタログ作成日時 | 2024/11/01 02:49:18 |
| カタログ最終更新 | 2026/06/10 02:41:57 |
| データ最終更新 | 2025/12/12 16:39:56 |
| 概要 | 東京都におけるスタートアップや産業の動向を可視化し、成長分野や地域経済の変化を把握するためのデータになります。 東京都デジタルサービス局より提供いたします。 |

Sample

| タイトル (ファイル名) | 種別 | 概要 |
|-----------------|-----|-----------------------------|
| お問い合わせ フォーム | URL | データ利用希望等は、本URLよりお問い合わせください。 |

メタデータ
(データに関するご紹介や
お問合せ先など)
のみを掲載する形態も
ご用意しております。

活用事例・プロフィールについて

会員の皆さまのデータ利活用事例・プロフィールもご紹介しております



活用事例を見る

▶ フリーワードで検索する (タイトル/会員名/詳細)

▶ 「いいね」した投稿のみ表示

▶ 期間を選択する

 ~ 

会員一覧を見る

▶ フリーワードで検索する (会員名/詳細)

▶ 業種で絞り込む

タイトル 人流データと事業所データで見る街の変化

会員名 一般財団法人GovTech東京_テクノロジー本部データ利活用グループ

最終更新 2025/03/31 20:03:27

詳細

東京データプラットフォームに登録されている会員のデータを活用し、皆さまに具体的なデータ活用事例をご紹介します。○2020年4月と2024年4月の街の変化
新型コロナウイルス対策の特別措置に基づく緊急事態宣言が発出された2020年4月と、4年後の2024年4月の渋谷駅周辺の滞在人口を比べてみると、商業施設…



会員情報

一般財団法人GovTech東京_テクノロジー本部データ利活用グループ

業種：公務（他に分類されるものを除く）

情報技術で
行政の今を変える、
首都から未来を変える



都知事杯オープンデータ・ハッカソン

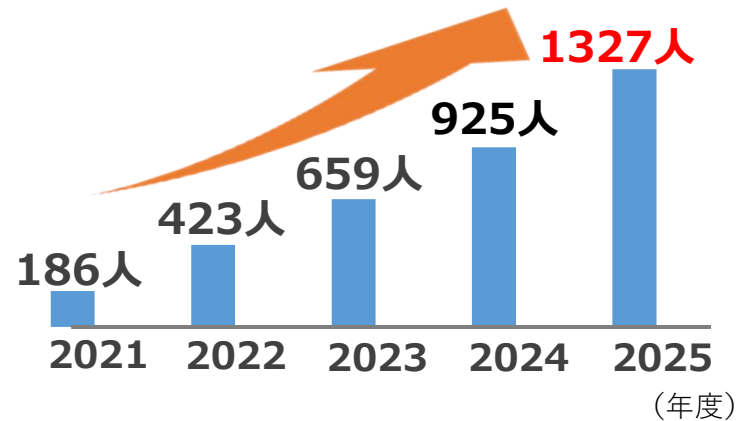
東京都オープンデータカタログサイトに掲載されているオープンデータを活用し、社会課題の解決に向けたデジタルサービスを企画・開発するイベント

詳しくはこちら



<https://odhackathon.metro.tokyo.lg.jp/>

参加の裾野を広げつつ、年々開催規模を拡大



2025年度のFinal Stageでは、24チームが都知事杯を目指し、創意工夫による多彩な作品を発表



【例年のスケジュール】



~7月下旬
参加者募集



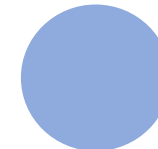
8月上旬
キックオフイベント



8月
プログラム開発



9月
First Stage



10月下旬
Final Stage



サービス創出



3月
DemoDay

会員様によるピッチプレゼン

～昨年度採択事業者様によるピッチプレゼン～

災害廃棄物から都市機能を守る 産官学連携の要諦

国立大学法人電気通信大学
学術国際部 学術情報課長
五十嵐 賢太郎 氏



国立大学法人

電気通信大学

The University of Electro-Communications

災害廃棄物から都市機能を守る産官学連携の要諦

令和8年度 第1回 TDPF コミュニティイベント

令和8年6月11日

国立大学法人電気通信大学 学術国際部
学術情報課長 五十嵐 賢太郎

プロジェクト概要

平常時データと災害教訓を活用し、誰も取り残さない災害廃棄物マネジメントを実現する

取り組む課題の全体像



過去の災害から 得た教訓

R1東日本台風直後の調布市内



- 災害ゴミの出し方がわからないと、、、
- 路上に混合ゴミが排出（汚物含む）
- 衛生3大リスクの顕在化（感染症・悪臭・害虫）
- 歩道寸断・救護活動の妨げ・渋滞の発生



平時からの データ収集

- ・日常からアプリ利用を拡大
- ・「誤排出が多発する品目」などの事前集計
- ・平時ゴミ収集のGISベース化



新しい「災害 モード」の開発



災害モード

- ・被災エリアへの**瞬時アナウンス**
- ・位置情報に基づくゴミ排出案内（13か国語による）
- ・→いつ・どこに・何を出すかをAIが回答

AI ごみナビ



AI 収集ナビ



災害モード

- ・災害時仮置場の収集ナビ
- ・オープンデータ、GIS連携
- ・モデル化、排出量予測

プロジェクト概要

AIと災害行動モデルを大学知で設計し、自治体データで現場に接続する。

実施体制

電気通信大学

- AI・災害行動モデルの全体設計
- オープンデータや自治体データのGIS統合
- 実験計画・倫理審査・効果検証・データ分析



国際社会実装センター長 石垣 陽

調布市 資源循環推進課・総合防災安全課

- 仮置場情報・災害計画及び実証フィールドの提供
- UIや仕様に対する行政レビュー
- 市民向け広報・訓練時の対応



ボルゾイAI株式会社

- AIごみナビ・AI収集ナビの「災害モード」開発
- 実証ログの分析と機能改善
- 他自治体向け展開支援



東京外国語大学

- 市内2.5%の外国人に向けた「やさしい日本語」対応
- 多文化共生ワークショップの実施（留学生×行政×デザイナー）
- デザイン成果のAIごみナビへの実装とオープンデータ(CC)化



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

取組

取組1

AIごみナビ

災害モードの実装



取組2

AI収集ナビ

災害モードの実装



取組3

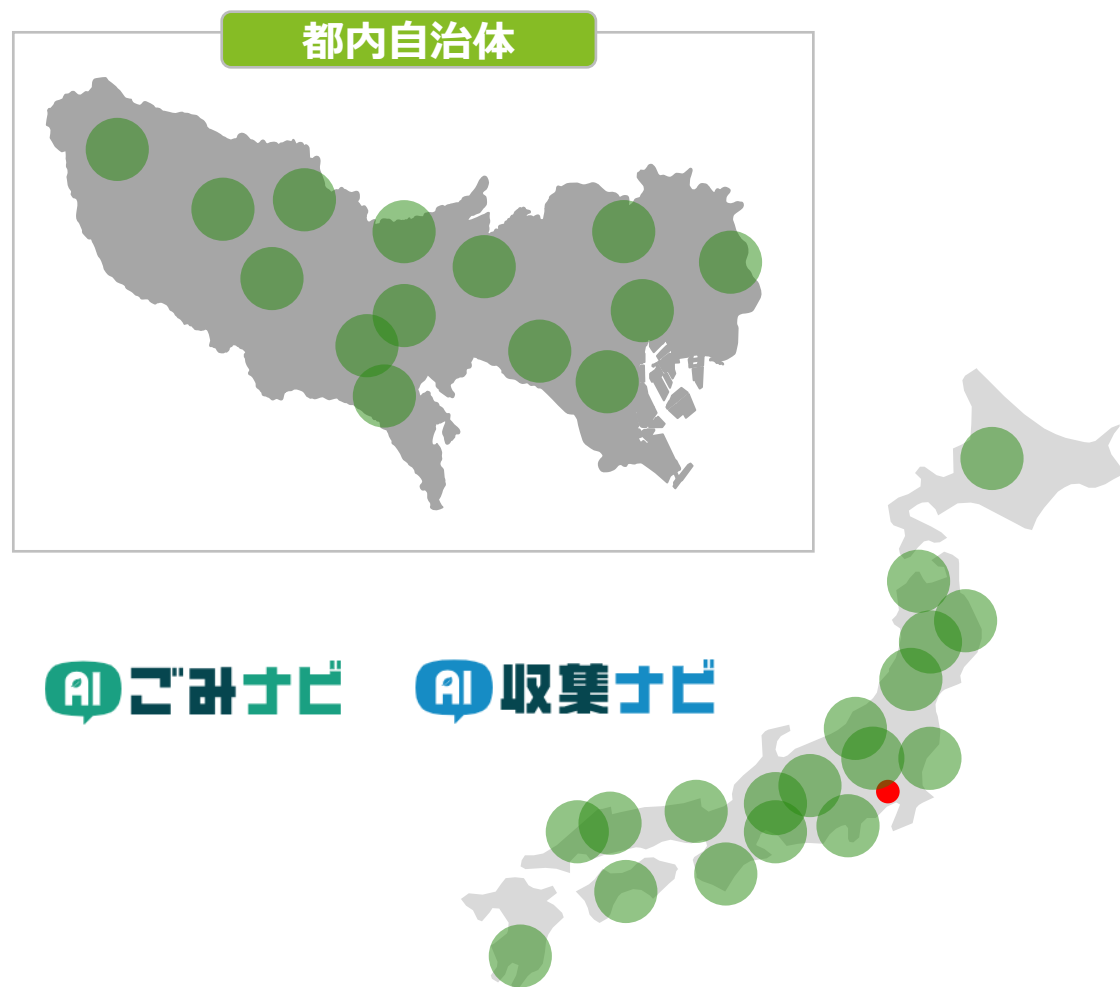
多文化共生 ワークショップの実施



ケーススタディ事業 実施の成果

本実証結果を元に、AIごみナビ・AI収集ナビ導入自治体へ災害モードの提案を行なっています。

他自治体での広がり



都内自治体

✓調布市、福生市、羽村市、江東区、三鷹市、東大和市
(収集ナビ単体での実証：調布市、荒尾市、墨田区)

都外自治体

✓能代市、加賀市、苫小牧市、東根市、鎌ヶ谷市、焼津市

現在14自治体→ R8年度中に32自治体へ拡大見込み

本実証結果を元に、
複数の自治体で災害モードの
トライアル導入を検討頂いております。

※本スライドに記載の自治体はAIごみナビ・AI収集ナビの導入自治体です。災害モードは調布市での実証結果を基に、現在提案段階です。

データ還元による、災害廃棄物対応の共通基盤化

TDPFへの還元データ

① データ還元（非個人情報中心）

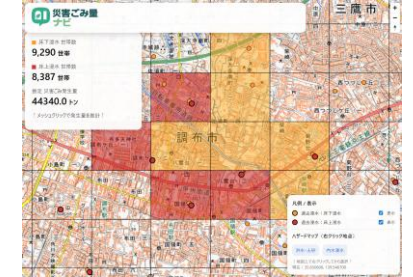
- 災害ごみ排出量予測モデル、GISデータフォーマット
- 収集ナビ（災害モード）の実証稼働ログ

② 成果物の技術標準化・再現性確保

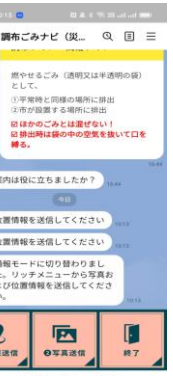
- 集積所・仮置場リスト構造化テンプレート
- 災害モード／収集ナビ画面仕様

③ 多文化共生対応に向けたデザイン

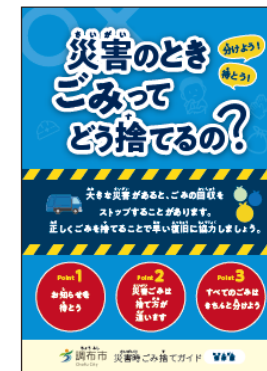
- やさしい日本語化の経過（before/after等）
- 多文化共生ワークショップのレポート
- 各種CCライセンス化済の災害ごみ排出コンテンツ



タップしてメニューを表示。



タップしてメニューを表示。



事業推進のポイント

- 本事業の成功へ向けて、プロジェクトの成果・目標・取組を明確化
- これらの達成へ向けた、計画策定、側面・伴走・結果評価の管理支援

プロジェクト進捗の報告

定期報告（書面）

- 各事業のプロジェクト状況をタイムリーに把握し、必要な対応策を実施する

月次進捗MTG

- プロジェクトの状況を代表事業者、事務局間で認識をすり合わせる
- プロジェクトに係る課題の報告、対応が必要となる課題の対応策を決議する

顔合せ、キックオフ、中間報告

- プロジェクト進捗状況、次年度以降の継続・横展開の見通し、想定しているTDPFへの還元データなどの成果報告会・最終報告会に向けた確認

設定したKPI 市民・事業者・自治体実装の有効性を定量的に検証する

| 対象 | 定性的なゴール状態 | 内容 | 目標数値 | 単位 | 項目の設定背景 | 数値設定の根拠 |
|---------|---|----------------------------------|------|----|--|---|
| 対市民 | 従来の案内パンフレット類と比較して市民における罹災ごみ排出方法に関する理解度が向上することが確認される（市民が迷わず正しい場所・方法で排出できる状態） | 理解度の平均点の前後比較 | 200 | % | 自治体にとってわかりやすい指標として、まずは従来方法からアプリ導入後の実測値の向上を示す必要がある | 従来方法と比べて、アプリ導入効果を自治体に訴求するうえで十分なインパクトがある水準と考えられるため |
| | | アプリによって十分な理解度（70点以上）を示した住民の割合 | 80 | % | 向上幅だけでなく、アプリ導入後に誤排出をしなくなると期待できる理解度の高い住民の数を絶対値として示す必要がある | 同上 |
| | 従来の案内パンフレット類と比較して市民における罹災ごみ排出方法に関する案内の満足度が向上することが確認される（アプリが「分かりやすい」「役立つ」と感じられる状態） | ユーザテストでの満足度の平均点の前後比較 | 200 | % | 利便性や操作性を「市民が納得できる水準」で確保することが持続利用の鍵となる | 同上 |
| | | アプリによって十分な満足度（70点以上）を示した住民の割合 | 80 | % | 向上幅だけでなく、アプリ導入後に誤排出をしなくなると期待できる満足度の高い住民の数を絶対値として示す必要がある | 同上 |
| 対自治体担当者 | 限られた職員でも効率的に災害廃棄物処理の意思決定ができる状態 | トータル業務時間（収集ナビ+GIS+市民通報 vs 紙アナログ） | ▲50 | % | 自治体にとってわかりやすい指標として、まずは従来方法からアプリ等導入後の実測値での業務時間の削減を示す必要がある | 同上 |
| 対収集事業者 | 限られた人員・車両で、平常時是不慣れな集積所・仮置場にて効率的に収集を終えられる状態 | 収集時間（紙指示 vs 収集ナビ） | ▲50 | % | 自治体にとってわかりやすい指標として、まずは従来方法からアプリ導入後の実測値での収集時間の削減を示す必要がある | 同上 |
| 対横展開先 | 導入済み自治体からのフィードバックが体系的に集まり、改善に活かされる状態 | 営業自治体数+フィードバック取得 | 10 | 件 | ごみナビ従来利用自治体に対して営業し、災害モード横展開の可能性を探る | 営業活動を通じて導入意欲や運用上の課題を把握し、次年度以降の改善材料とするため設定 |

すべての項目において、「大幅に達成」、「ほぼ達成」

都デジタルサービス局 及び TDPF事務局による支援に感謝！



(令和8年1月設立時の趣意書要約)

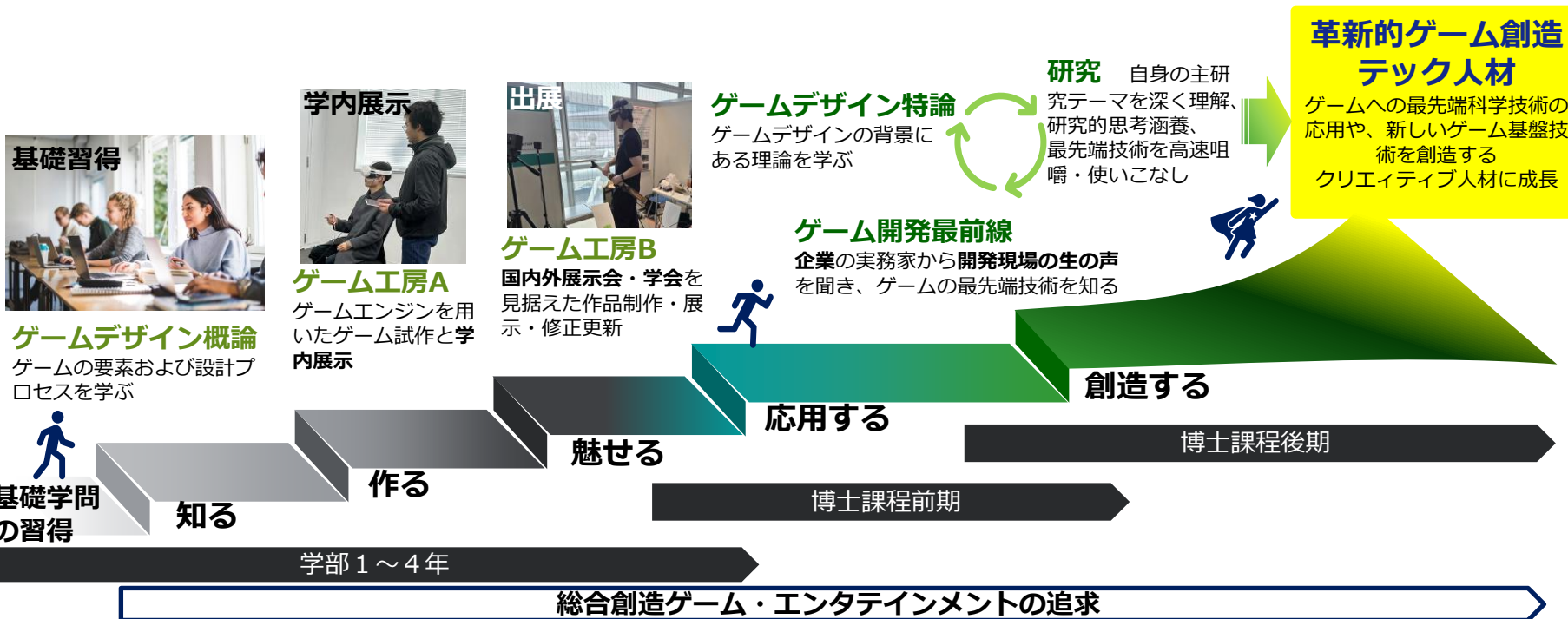
分野横断的教育研究

産業界との協働

高度人材教育プログラム

実施・研究推進

国際的研究教育拠点 の形成



育成する人材像： 革新的ゲーム創造テック人材

- 作品を最後まで作り切った経験を持つ人材
- 先端技術を学ぶのみならず、自ら課題を設定して創造し、**研究的思考**で解決に導ける人材
- 世界に対して自分/組織の成果をアピールできる人材

実施プロジェクトなど（予定含む）

- 先端技術と創造力を統合する技術系ゲームクリエイター育成のための**産学官連携プログラム**
- 初等中等教育への生成AIを利用したゲーム作成等の出張授業 (e.g. 2026.2 東京都大島町の小・中学校4校)
- 全学部生・大学院生対象の副専攻を順次設置

AI×データが創る 道路マネジメントモデル構築プロジェクト

東京海上スマートモビリティ株式会社

モビリティ事業部 部長

児島 慎也 氏

令和7年度

東京データプラットフォームケーススタディ事業

AI×データが創る

道路マネジメントモデル構築プロジェクト

東京海上スマートモビリティ株式会社

2026年6月11日

アジェンダ

1. プロジェクト概要

2. 取組内容詳細

3. 今後の展望

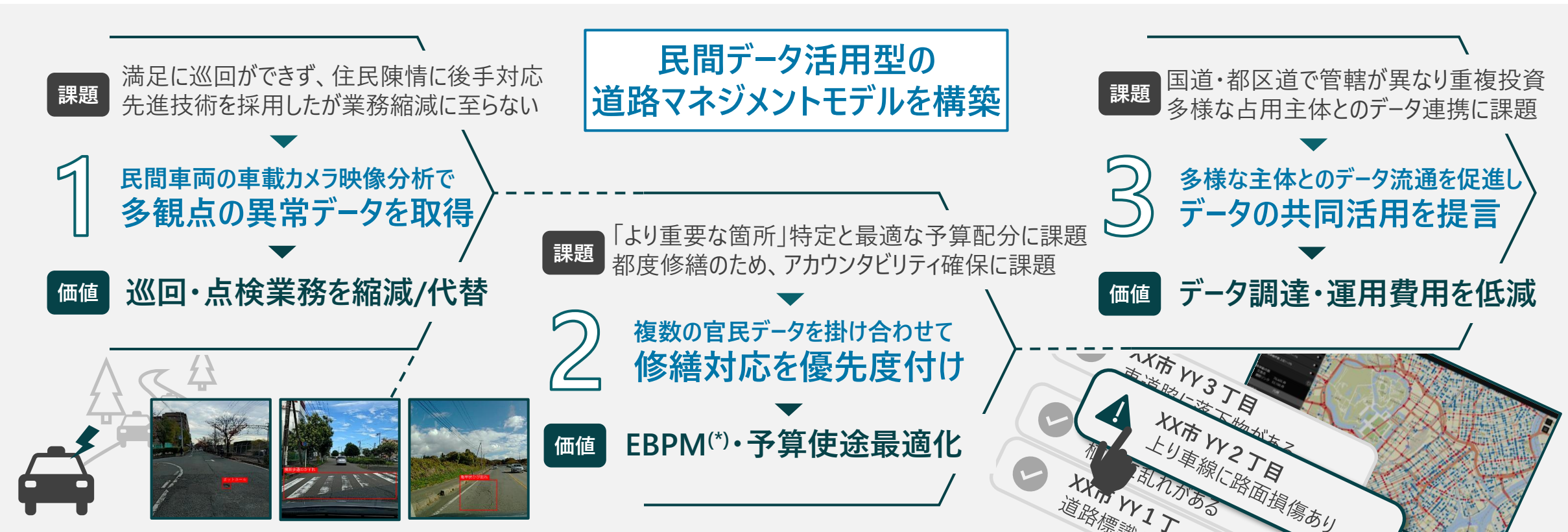
1. プロジェクト概要

1. プロジェクト概要

日本全国で急速に進む道路インフラ老朽化と人手不足という社会課題を解決するために、民間データとAIを活用した、人手の巡回に依存しない持続可能な新しい道路マネジメントモデルを、東京から構築・発信します。

プロジェクトの背景・目的、取り組む課題

- 背景：「道路維持管理DX」は専用設備・機器が必要、適用範囲が限定的などの理由から、実用化や普及に課題がある。
- 目的：財源の限られる自治体でも実装可能な、民間データ活用型の、維持管理高度化を実現するモデルを構築・発信する。



*)EBPM: Evidence Based Policy Making. 証拠に基づく政策立案

1. プロジェクト概要

「地域住民等の走行映像」を多観点でAI分析し、民間プローブデータや自治体保有データとの新たな掛け合わせにより道路維持管理を高度化するモデルの創出は、TDPFならではのアプローチです。

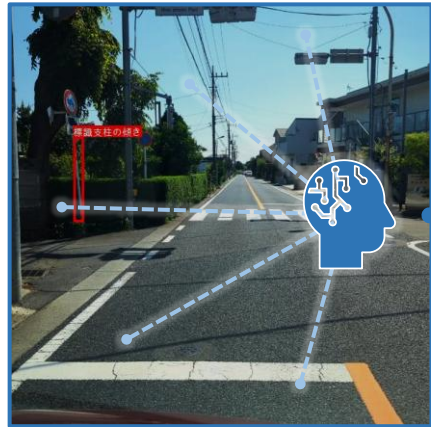
データの掛け合わせ

独自性

一つの映像を多観点で統合的にAI検知して巡回業務代替の点から実用化検討を行う

新規性

官民データの「新たな掛け合わせ」により複数要素に基づく対応優先度を評価する



- 路面ポットホール
- 路面ひび割れ
- マンホール周辺舗装 表面損傷
- 案内/警戒の道路標識の異常
- 規制/指示の道路標識の異常
- 交通安全掲示の異常
- 横断歩道の剥離

AI異常検知データ
(実施項目 1)

- わだち掘れ量 (国交省規準)
- ひび割れ率 (国交省規準)
- 交通量 (乗用車・商用車)
- 人流 (歩行者・自転車)
- 事故危険度 (*詳細次頁)
- 通学路
- 公共交通路線

優先度根拠データ
(実施項目 2)



民間企業
データ



TDPF掲載
データ



自治体・官公庁
データ

官民データの活用

保険会社等が提供可能(*)な
地域住民の車載カメラ
映像データの活用

(*) 本実証はモデル検証を目的としたため、品川区巡回車両にて映像を取得。実運用時には利用同意取得を前提とします。

1. プロジェクト概要

車載カメラデータ取扱・道路維持管理実務・画像分析の各分野で実績豊富な企業で体制を構築しました。

実施体制

| | 代表企業 東京海上スマートモビリティ株式会社 | 日本工営株式会社 | 株式会社アーバンエクス テクノロジーズ | 株式会社ナイトレイ |
|----|---|---|---|--|
| 概要 | 車載カメラデータ、交通関連データの取扱実績が豊富な東京海上ホールディングス株式会社100%子会社 | 日本国内外におけるインフラに関する調査、設計、マネジメント等の豊富な経験を有し、『維持管理システム』を自治体に提供する建設コンサルタント | 自治体向け技術・サービス提供の実績が豊富な、インフラDX分野の東大発画像分析スタートアップ企業 | 人流・交通量などロケーションデータの取扱い実績が豊富なスタートアップ企業 |
| 役割 | <ul style="list-style-type: none">・プロジェクト全体の取りまとめ・車載カメラ映像データ収集 (項目 1)・" AI交通事故発生リスク分析データ"の整備 (項目 2)・他SHとの協議推進 (項目 3) | <ul style="list-style-type: none">・異常検知結果データの評価 (項目 1)・優先度付け方案企画・評価 (項目 2) | <ul style="list-style-type: none">・車載カメラ映像データの分析 (項目 1) | <ul style="list-style-type: none">・人流・交通流データの整備 (項目 2) |

2. 取組内容詳細

2. 取組内容詳細

車載カメラ映像分析による多観点の異常データの有用性を評価するとともに、観点別点検データ集約によるモデル拡張性検討、巡回業務実態と住民データの網羅度比較等を行いました。

実施項目 1 取組内容

映像による多観点異常検知の有用性評価

映像データ取得



品川区を巡回する協力事業者の車両に車載カメラを設置

映像を多観点でAI分析し異常検知データを作成



マンホール周辺



道路標識傾き



ポットホール



横断歩道かすれ

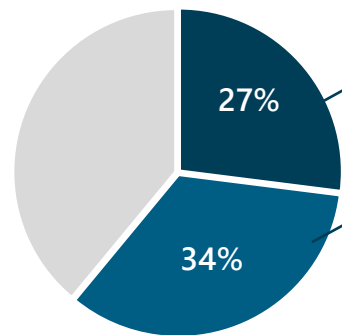


路面ひび割れ

職員チェック等で有用性評価

| # | 異常の観点 | 精度 |
|---|--------------|-----|
| 1 | 路面ポットホール | 84% |
| 2 | 路面亀甲状ひび割れ | 87% |
| 3 | マンホール周辺のひび割れ | 90% |
| 4 | 標識の傾き | 80% |
| 5 | 横断歩道のかすれ | 83% |

観点別点検データ集約によるモデルの拡張性



品川区の点検データベースを集計

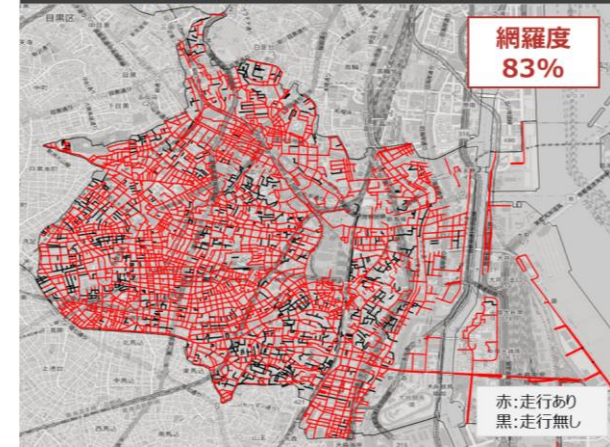
今回の分析対象物

将来的に画像分析で検出する

本モデルにより、将来的には
点検全体の60%程度をカバーする

住民の走行が自治体巡回車両よりも高頻度・網羅的

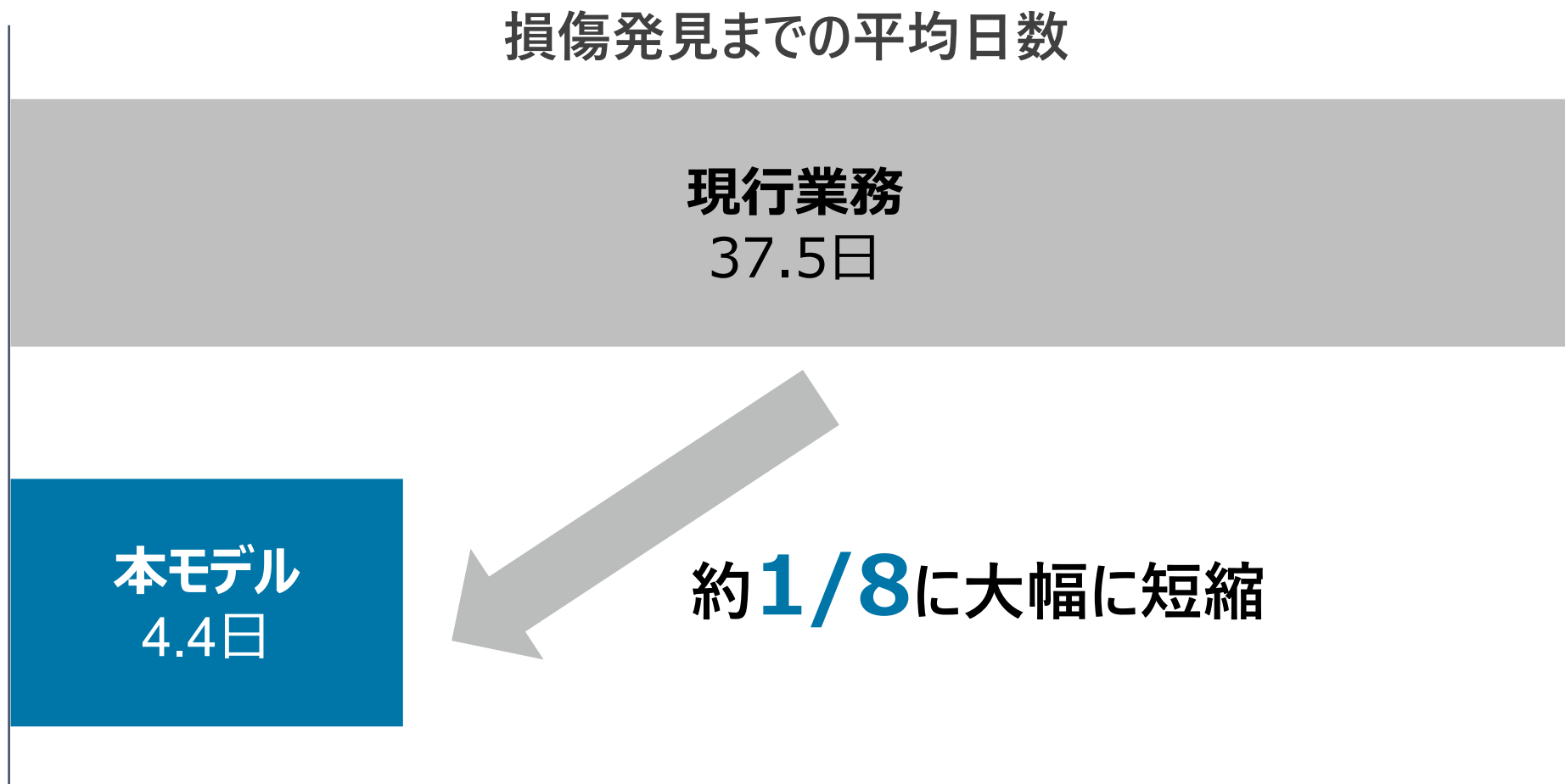
保険契約者の14日間の走行実績



2. 取組内容詳細

実施項目 1 で検証した「住民の走行映像データを活用した維持管理モデル」は、現行業務と比べて、頻度・網羅度高く点検できるため、損傷発見までの平均期間を約1/8程度に短縮できることを確認しました。

実施項目 1 検証結果



※週 1 回民間データを活用する形に移行し、人手巡回を半分の頻度に縮減し「データで確認が漏れている箇所」を中心に走行する業務とした場合の統計的試算

2. 取組内容詳細

建設コンサルタントの知見に基づき、車道・歩道・安全交通の観点から優先度付けの考え方を整理
各データを調達し、実際に品川区の道路に適用して優先度評価を実施しました。

実施項目2 取組内容

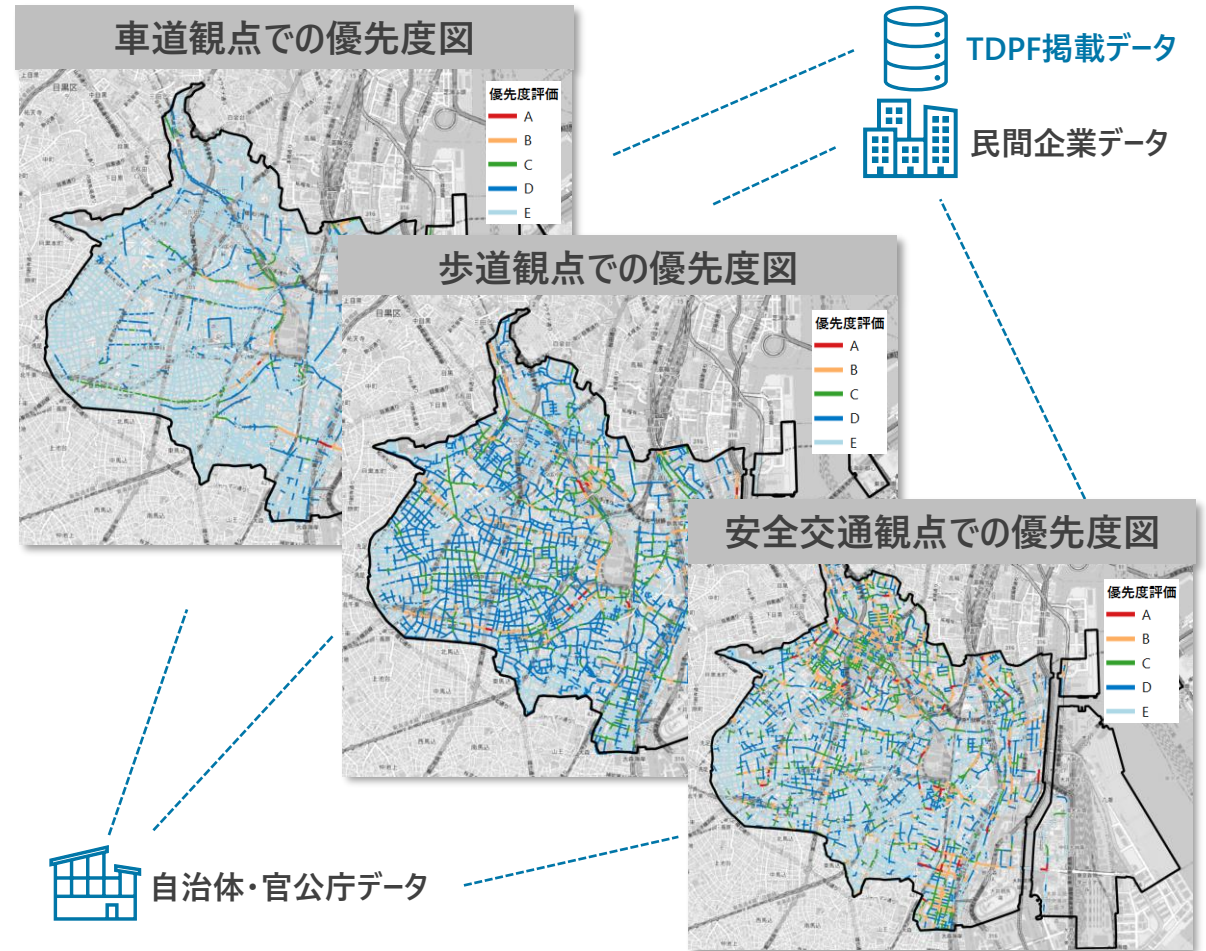
建設コンサルタントの知見に基づき優先度付け方案の策定

| No | 項目 | ←優先度・危険度→ | | | | | 備考 |
|----------------|--------------|-------------|----------|-----------|-----------|--------|-------------------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 車道 維持 管理 | 路面性状調査結果 | MCI5以上、算出不可 | - | 3以上5未満 | - | 3未満 | 未計測区間も評価は1点 |
| | 緊急輸送道路 | - | 非該当 | - | - | 該当 | |
| | 都市計画道路 | - | 非該当 | - | 該当 | - | |
| | バス路線 | - | 非該当 | - | 該当 | - | |
| | コミュニティバス路線 | - | 非該当 | - | 該当 | - | |
| | 車両通行量 | 0-500、算出不可 | 500-1000 | 1000-2000 | 2000-5000 | 5000以上 | 台/日、未計測区間も評価は1点 |
| | 大型車両通行量 | 0-10、算出不可 | 10-20 | 20-50 | 50-100 | 100以上 | 台/日、未計測区間も評価は1点 |
| | Manesrus路面異状 | 0件 | - | 1-4件 | - | 5件以上 | ポットホール、ひび割れ、陥没を抽出 |

| No | 項目 | ←優先度・危険度→ | | | | | 備考 |
|----|--------------|------------|----------|-----------|-----------|--------|-----------------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 歩道 | 通学路 | - | 非該当 | - | 該当 | - | |
| | 歩行者通行量 | 0-500、算出不可 | 500-1000 | 1000-2000 | 2000-5000 | 5000以上 | 人/日、未計測区間も評価は1点 |
| | Manesrus歩道関連 | 0件 | - | 1-4件 | - | 5件以上 | 相談に歩道が含まれる項目 |

| No | 項目 | ←優先度・危険度→ | | | | | 備考 |
|-----------------|-----------------|-----------|-------|-------|-------|--------|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 安全 交通・ 事故 | AI事故リスク（路線） | 0-20、算出不可 | 20-40 | 40-60 | 60-80 | 80-100 | 未計測区間も評価は1点 |
| | AI事故リスク（交差点） | 0-20、算出不可 | 20-40 | 40-60 | 60-80 | 80-100 | 未計測区間も評価は1点 |
| | Manesrus事故リスク関連 | 0件 | - | 1-4件 | - | 5件以上 | カーブミラー、ガードパイプ、ポストコーンを抽出 事故による損傷報告が多い施設 |

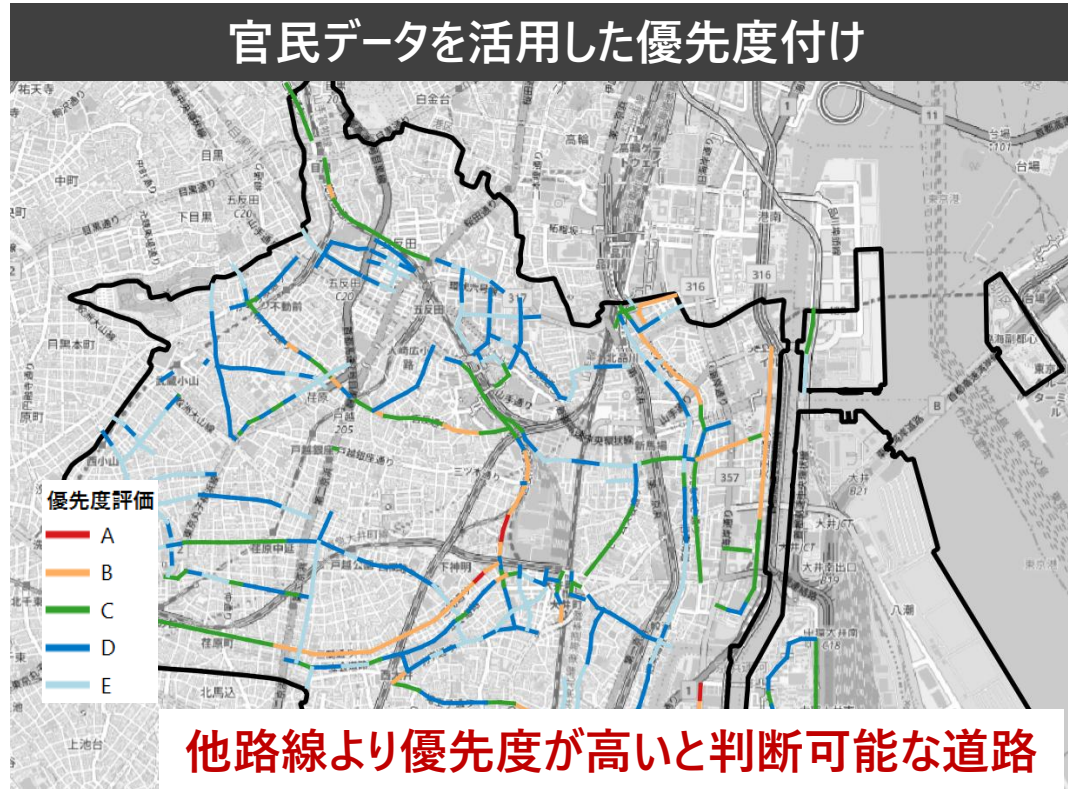
「事故リスク」「交通量」「歩行者数」等のデータを適用



2. 取組内容詳細

実施項目2で策定した「官民データを活用した優先度付けモデル」は、現行のデータ(路面性状調査等)のみで優先度付けを行う場合と比べて、優先度判断が可能な路線が拡大することが確認できました。

実施項目2 検証結果



72.8%

| | |
|----|-------------------|
| A | 0.80 km (1.28%) |
| B | 7.65 km (12.30%) |
| C | 13.42 km (21.57%) |
| D | 23.43 km (37.66%) |
| E | 16.91 km (27.19%) |
| 合計 | 62.21 km |

2. 取組内容詳細

実施項目3においては、30以上の道路管理者へのヒアリングにより課題・解決策の蓋然性を確認しました。下水道管理者と、映像データの下水道設備管理への活用に向け検討を着手しました。

実施項目3 検証結果

- 1 多観点での異常検知ニーズが、すべての道路管理者に共通して存在
 - 2 管轄が広く苦情対応に追われている自治体ほど、「映像そのもの」に価値を感じている
 - 3 AI検知を必須としない「映像活用」ユースケースの広がり
 - 4 下水道分野とのデータ共同活用による相乗効果の可能性
-

3. 今後の展望

3. 今後の展望

令和8年度の横展開としては、本事業のトライアルを含む実用化支援事業の実施が2件決まっております。
令和9年度の実装に向けた予算取りについて、4市以上で協議を進めております。

令和8年度以降の取組方針



都内自治体

✓A市（令和9年度以降の実装に向け協議中）

都外自治体

✓B県（令和8年度の実装化事業に採択）

✓宮城県C市（令和8年度の実装化事業に採択）

✓岐阜県D市（令和9年度の実装に向け協議中）

✓岐阜県E市（令和9年度の実装に向け協議中）

3. 今後の展望

本プロジェクトで提案した道路マネジメントモデルの実装に向けた検討にご興味をお持ちの自治体様、「道路走行映像データ」等の他分野活用にご興味をお持ちの企業様は、ぜひご意見交換をさせていただきます。

依頼事項

自治体



✓道路維持管理にかかる日常点検に、人手や実施範囲などの面で課題を抱えている自治体様と交流させていただきたいです。

企業



✓防災や交通などの分野において、道路映像データの業務活用の可能性がある企業様とご意見交換をさせていただきたいです

会員様によるピッチプレゼン

～自治体様によるピッチプレゼン～

まちづくりにおける 回遊性向上に向けたデータ利活用 ～エリアの価値を高める新たなアプローチ～

板橋区 都市整備部 都市計画課

藤江 孝行 氏

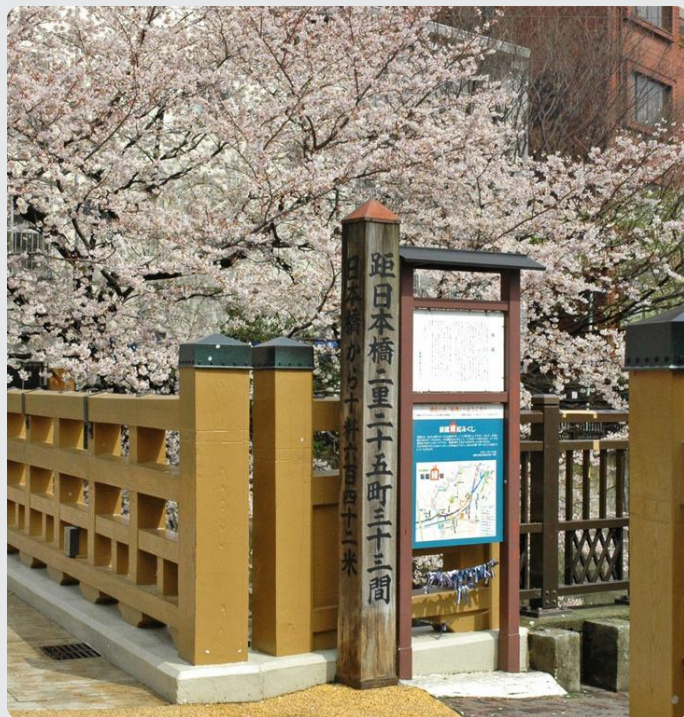
令和8年度 第1回 TDPFコミュニティイベント

まちづくりにおける回遊性向上に向けたデータ利活用 ～エリアの価値を高める新たなアプローチ～

2026年 6月 11日

板橋区役所 都市整備部 都市計画課 調整・都市基盤DX係

板橋区を紹介



いたばしく

板橋区

Itabashi Ward

板橋区の位置

東京23区のうち北西部に位置し、東経139度37分から同44分、北緯35度43分から同48分の間にあります。

板橋区の面積

- 面積は32.22平方キロメートルで、**23区中9番目**です。（令和6年度全国都道府県市区町村 面積調）

主板橋区の世帯・人口（令和8（2026）年1月1日時点）

- 世帯数 340,146 世帯
- 人口 **583,528 人**

板橋区の特徴

商店街

江戸時代に整備された中山道や川越街道の宿場町として繁栄

→**地域に根ざした商店街が多く存在**



交通利便性

鉄道駅から概ね徒歩15分（1.2km）で駅から様々な場所に移動しやすい

→**交通利便性が高い**



都市整備の状況

板橋区では、再開発や再整備などのまちづくりが、**多くのエリアで同時**に行われています。

まちづくりに取り組んでいる主な地域

高島平地域

地域内外の交流や若者世代の定住を促進し、子どもから高齢者まで、元気に楽しく安心して住み続けられるまちをめざします。

上板橋駅南口

駅前のにぎわいを活かしながら、駅前広場の新設整備を伴う再開発事業を進め、交通利便性や地区の防災性・安全性の向上をめざします。

大谷ロー一丁目周辺

木造住宅が密集している地域で、建物の不燃化などを進め、燃え広がらない・燃えないまちをめざします。

大山駅周辺

駅前広場・道路の新設整備、鉄道の立体化、再開発事業などにより、駅周辺のさらなるにぎわい・活気を生み出しつつ、住環境の保全や交通利便性・防災性の向上をめざします。

板橋駅西口周辺

板橋区の玄関にふさわしい、広場空間の創出を伴う再開発事業や駅前広場の改良整備などにより、誰もが暮らしやすく活気にあふれた、安心・安全なまちをめざします。



所属部署の紹介

板橋区役所 都市整備部 都市計画課 調整・都市基盤DX係は、

デジタルツインや**データ利活用**を推進させるため、

まちづくり部署のニーズとデジタルサービスを**繋げる部署**です。



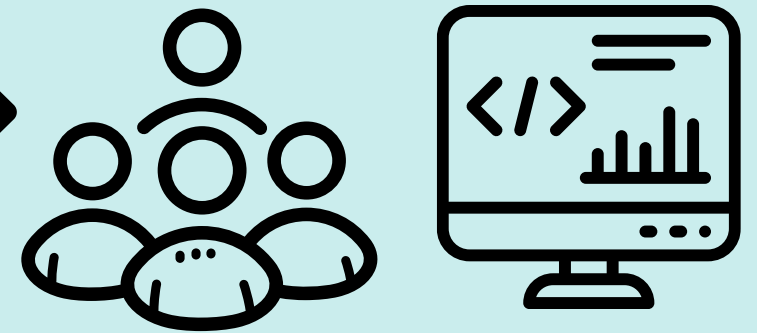
各まちづくり推進部署

- 各まちづくりに関するニーズ



調整・都市基盤DX係

- デジタルツイン推進
- まちづくりデータ利活用推進
- **マッチング調整**



各デジタルサービス事業者様

- 様々なシーズ

所属部署の紹介（デジタルツインの取組と課題）

現在までのデジタルツインを利用した取り組みと、今後に向けた課題

現在までの取り組み



防災（火災・水害）

- 水害シミュレーション
- バーチャル水害避難訓練
- 延焼シミュレーション

商店街と連携した回遊施策や 周辺区立博物館・文化財のデジタル化

- 博物館、文化財デジタルガイド
- 町全体を使った商店街連携 周遊イベント

今後に向けた課題

デジタルツインを使って...

- まちづくりライト層への情報発信
- まちづくり拠点の恒常的な回遊への利用
- まちづくり効果の事前シミュレーション

参考体験イメージ（動画）

板橋デジタル歴史探訪

<https://www.youtube.com/shorts/hysJxITS4Ro?feature=share>

歩学

<https://www.youtube.com/watch?v=FwVzO3O5uJU>

<https://www.youtube.com/watch?v=ZUEa9d8RQDc>

https://www.instagram.com/reel/DUaRsISD-_m/

ねったい探検隊

<https://www.youtube.com/shorts/EZ04ECmrw9k>

バーチャル水害避難訓練アプリ

<https://www.youtube.com/watch?v=C7ZsrfcEV0o>

まちづくり推進部署の課題

工事中など**一時的に賑わいの低下** → 工事中・整備後も**賑わいを維持**したい！

1

駅前広場の再整備や再開発工事

- まち全体の老朽化の改善（老朽化した基盤・機能）
- 仮囲い（工事の壁）の設置による景観の悪化
- 幅員の減少など駅前の「歩きにくさ」の発生

2

動線の変化・一時的な店舗移転

- 店舗エリアへの誘導サイン（案内板）の不足
- 動線から外れた**店舗エリアの孤立化**
- 「お店が閉まっている」という誤解による来街者の減少

3

商店街の**人流変化**・**賑わい減少**

- 駅前から**商店街への回遊性の低下**（足が遠のく）
- 滞在時間の短縮（用事だけ済ませてすぐ帰る）
- イベントなどの中止や縮小による、**まち全体の活気の低下**

4

駅前広場の再整備・再開発完成

- 新店舗のオープンや広場でイベントの開催
- リニューアルされた歩行者空間や広場スペースの活用
- 新規来街者の増加

5

新たな賑わいが継続する

- 定期的なマルシェ（市場）や地域コミュニティイベントの定着
- 周辺の既存商店街と新施設が連携したエリア全体の活性化
- 「居心地が良く、何度も訪れたいくなる」ウォーカブルな街の実現

交流会に向けたマッチングの期待

再開発工事中も、**商店街へ人流誘導・回遊**させたい！

板橋

企業様

①

商店街に**寄りたくなる仕掛け**...あります！

住民にまちづくりに**参画**してほしい！（共創）

板橋

企業様

②

まちづくり（エリアマネジメント）に**参加したくなる仕掛け**...あります！

データ等を**利活用**して、**行動変容、情報提供、ナッジ、回遊促進**などのサービスに期待！

板橋

企業様

③

データを活用して**人の動きや選択を変えるサービス**...あります！

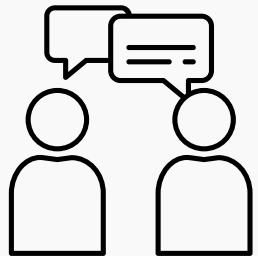
最後に...

事業効果のエビデンスが無いので実証実験フィールド探してるんだけど…
アカデミック連携もセットで取り組むチャンスです！



大学など研究機関との連携

- インパクト評価を研究している**大学・民間研究機関等と研究コンソーシアム**を組んでいる
- 事業の評価に困った際にはご相談ください。（研究フィールドを探しています。）



フィールド調整・伴走支援

- 実証実験等を行いたい場合は、**まちづくり部署の課題調整**します。
- まちづくり部署との間に入り**実証事業の伴走**します。

渋谷区のデータ利活用について

渋谷区 産業観光文化部 グローバル拠点都市推進課
高橋 雄太 氏

渋谷区のデータ利活用について

Shibuya City Smart City Initiative

2026年6月11日

渋谷区 産業観光文化部 グローバル拠点都市推進課 都市データ活用推進主査

“データ”は掛け合わせで“価値”になる

みなさんがお持ちのデータの価値を渋谷区と証明してみませんか？



Co-Creation with Data

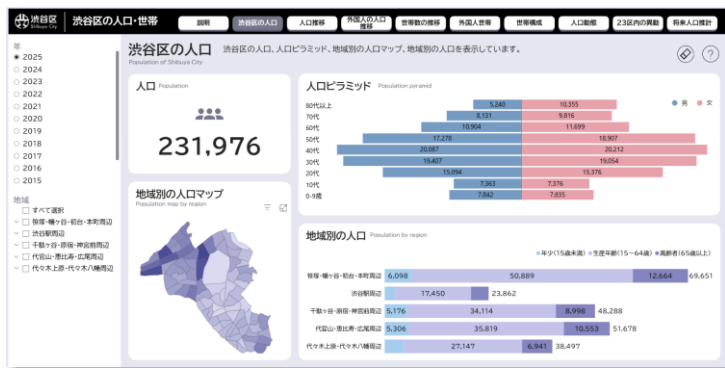
スマートシティ推進事業

Our Project

1

区の現状をデータで把握・共有

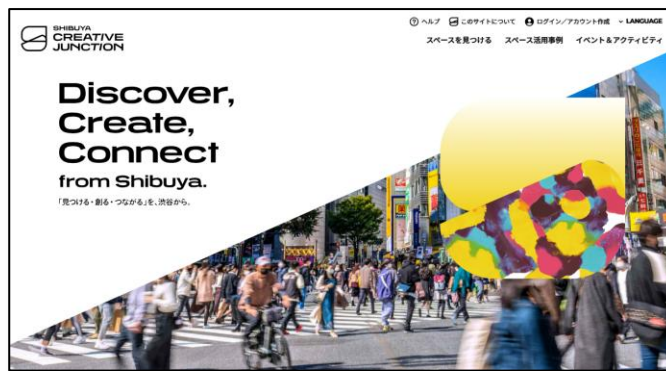
オープンデータ・
シティダッシュボード



2

官民連携で
まちなかを挑戦の場に

都市空間データの
サービス化



3

産官学民連携を通じて
都市の未来を共創する

渋谷国際都市共創機構
Shibuya Innovation Institute



01

オープンデータ・シティダッシュボード

Open Data & City Dashboard

SHIBUYA CITY DASHBOARD

Dashboard Examples

ちがいを ちからに変える街。 **渋谷区** Shibuya City

本文へ ↓ よくあるご質問 アクセシビリティ Language 施設予約システム マイページ

区政情報 > 区長の部屋 > 採用・職員情報 > Googleカスタム検索

くらし 健康・福祉 子育て・教育・生涯学習 環境・まちづくり スポーツ・文化・観光 防災・安全 事業者向け情報

渋谷区をデータで見る 共創事例 利用上の注意事項 よくあるご質問 問い合わせ・ご要望

SHIBUYA CITY DASHBOARD

渋谷区の「いま」を把握し、「これから」を考えるためのデータ活用プラットフォームです。
「ちがいを ちからに変える街。渋谷区」の実現に向け、データを活用しながら、多様な人々と共に、渋谷の未来を創ることを目指していきます。

渋谷区をデータで見る

渋谷区基本構想に掲げる7つのビジョンのもと、区の置かれている現状を、グラフや地図等で可視化します。
区にかかわる多様な人々がデータを共に活用し、課題解決や施策立案につなげていく環境を整えていきます。

CATEGORY

- 福祉
- 防災
- 環境
- まちづくり
- 交通
- 産業
- 区政運営
- 人口・世帯

福祉

あらゆる人が自分らしく生きられる街へ。

渋谷区の歩行空間ネットワーク

更新終了

渋谷区内の出張対応・車椅子対応の理美容室

渋谷区内の出張対応・車椅子対応可能な理美容室・美容室の配置と情報を可視化しました。

渋谷区内の「だれでもトイレ」と周辺の歩道傾斜度を可視化しました。

渋谷区内に立施設・鉄道駅の「だれでもトイレ バリアフリー情報」を可視化しました。



Microsoft Power BI 2023.5.15更新

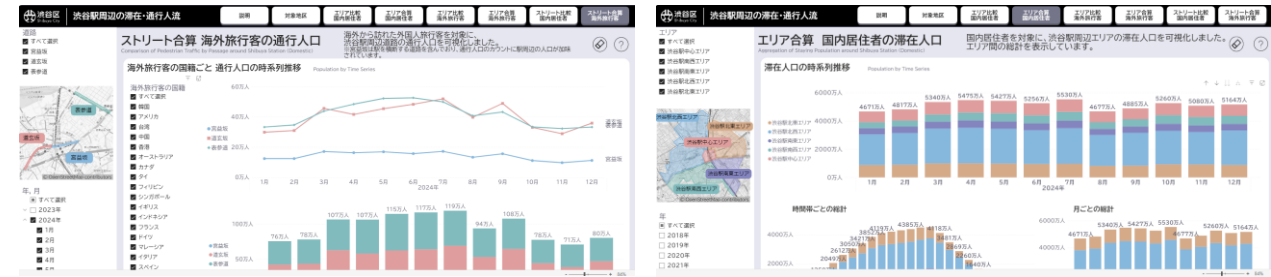


Microsoft Power BI 2023.6.9更新



Microsoft Power BI 2022.11.7更新

空間とコミュニティのデザイン分野



防災・安全・環境・エネルギー分野



福祉分野



ハチパイ 事業概要レポート

HACHIPAY Overview



ハチパイ 事業概要レポート

トップ

事業規模の推移

ユーザーの特徴

主な利用先

事業規模の推移

Overall / Monthly count of payment, user, and store

ハチパイ事業規模を示す決済額、ユーザー数、加盟店数のこれまでの総計と、月次の推移を表示しています。

集計期間 2022年11月から 2026年2月まで



決済総額 [億円]

Total payment amount

317 億円



月間決済金額 [億円] Monthly payment amount



ユーザー総数 [人]

153,210 人

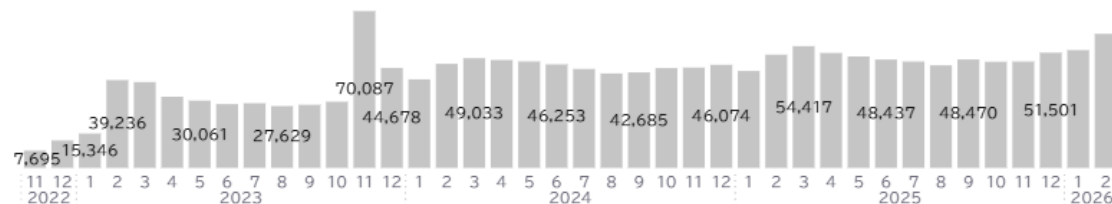
アクティブ数
Active user count



205,913 人

登録数
Total registered users

月間アクティブユーザー数 [人] Monthly active user count



加盟店総数 [店数]

4,597 店

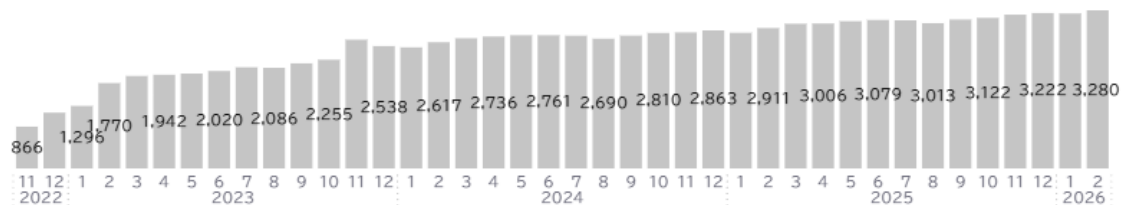
アクティブ数
Active store count



5,135 店

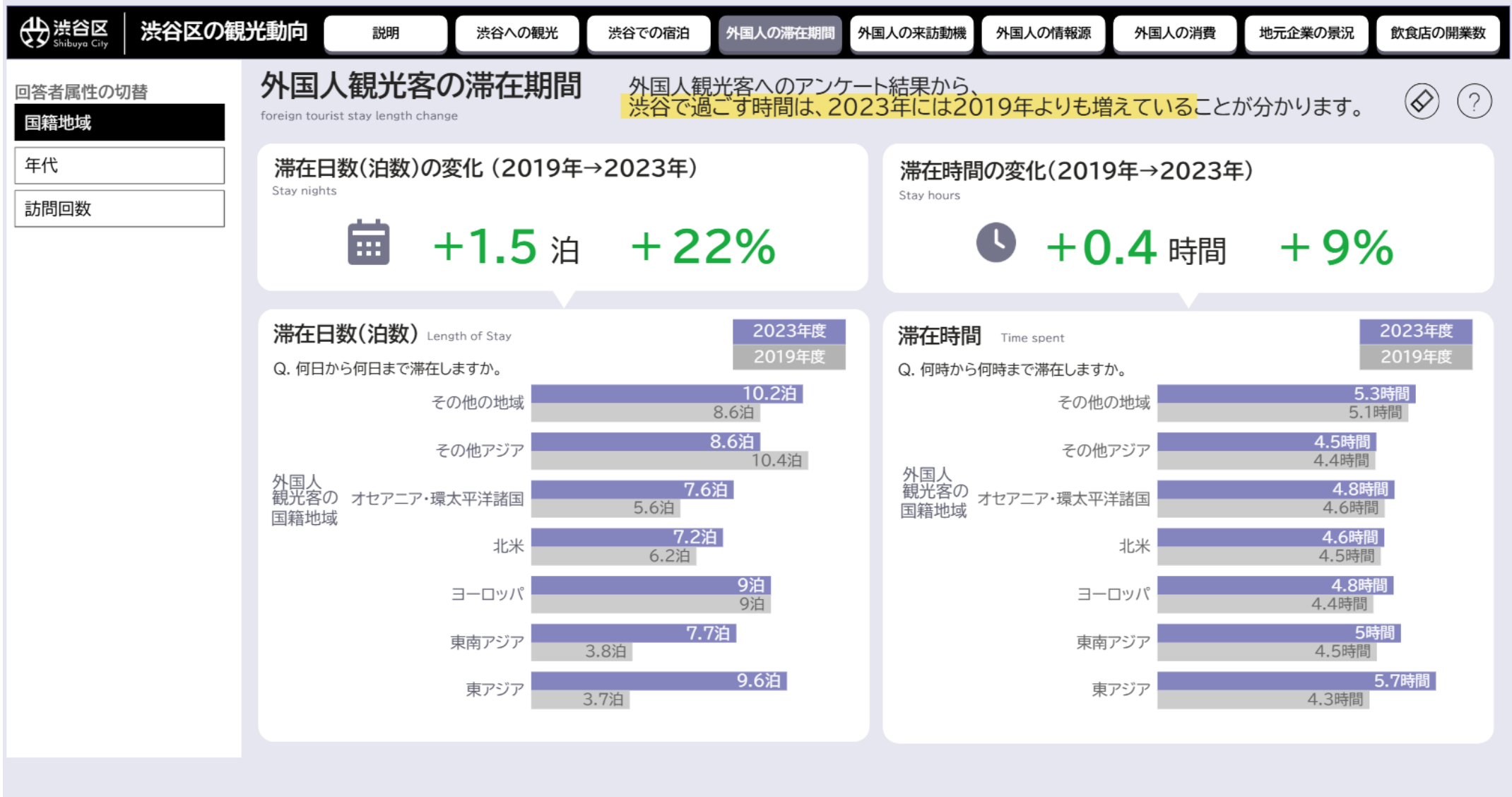
登録数
Total registered stores

月間アクティブ加盟店数 [店数] Monthly active store count



観光 事業概要レポート

Tourism Overview



共創事例

Co-Creation in Action

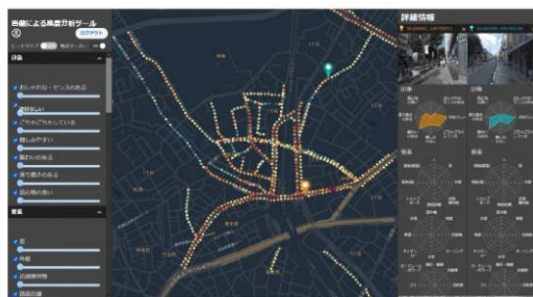
まちなかをデータで把握する民間データとの共創



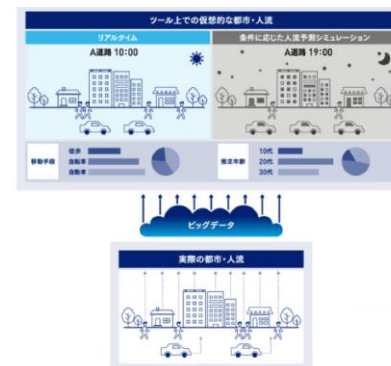
株式会社ユーザベース >
スタートアップ情報プラットフォーム「INITIAL」を活用した渋谷区内スタートアップ情報の可視化



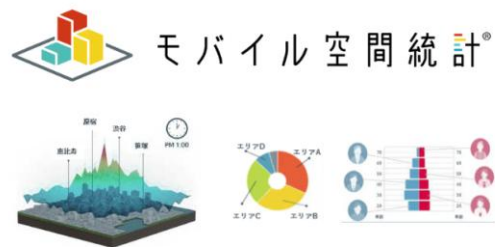
intelligence Design株式会社
エッジAIカメラを用いて取得した人流計測データの利活用



株式会社 竹中工務店
SNSの感情分析や風景画像の印象評価によるまちの魅力の可視化



三井物産株式会社
パーソナルアクティビティデータを用いた区内人流の把握



株式会社 NTTドコモ
モバイル空間統計を活用した状況可視化



イーデザイン損害保険株式会社
自動車保険「&e」を活用した渋谷区自動車移動データの取得

共創事例 ハロウィン当日の人流把握

Co-Creation in Action

ハロウィン当日・翌日の人流概要

※2016年～2021年におけるハロウィン当日（10/31）および翌日（11/1）のデータを使用しています。
 ※グラフ上の数値は実数ではありません。人口推計値に対し一律の係数を除算した数値を掲載しております。

データ説明

概要

各年の特徴

経年の特徴

エリア・概要

エリア・年代

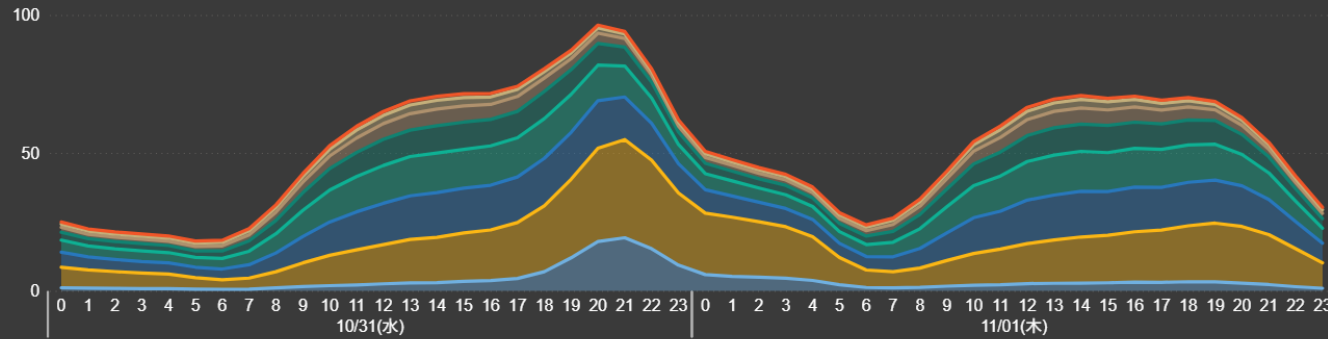
エリア・各年

ページ移動

| 年 | エリア | | | | |
|------|------|------|---------------------------|----------------------|---------------|
| 2016 | 2018 | 2020 | 渋谷駅北西（センター街・SHIBUYA109方面） | 渋谷駅南東（渋谷ストリーム・新南口方面） | 代官山駅・恵比寿駅方面 |
| 2017 | 2019 | 2021 | 渋谷駅北東（青山通り・渋谷ヒカリエ方面） | 渋谷駅南西（神泉・南平台方面） | 原宿・神宮前・千駄ヶ谷方面 |

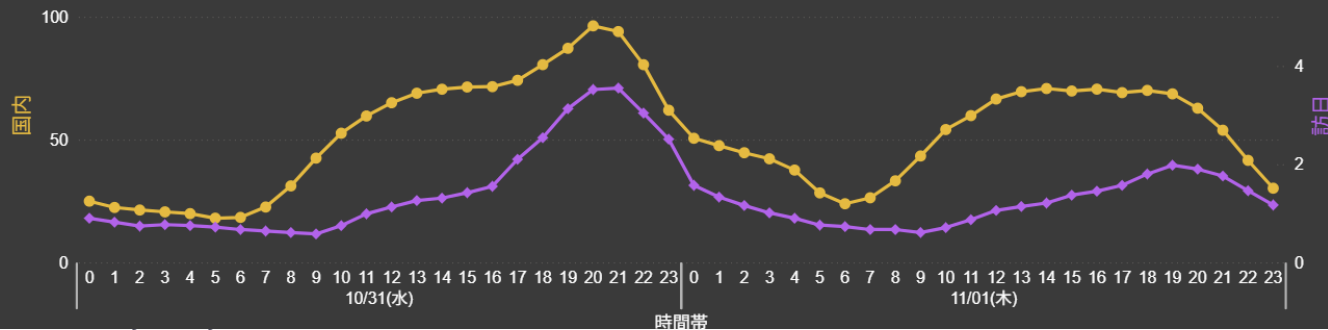
時間帯推移（年代別）

年代 ● 15-19歳 ● 20-29歳 ● 30-39歳 ● 40-49歳 ● 50-59歳 ● 60-69歳 ● 70-79歳 ● 80歳以上



時間帯推移（国内居住者・訪日外国人）

● 国内 ● 訪日



10/31 滞在者の属性（市区町村別）



※携帯電話の契約書住所を基に、一定数以上の市区町村のみ表示しています。（渋谷区を除く）
 また、人口推計値が最も大きい時間帯の値を使用しています。

データソース：モバイル空間統計®

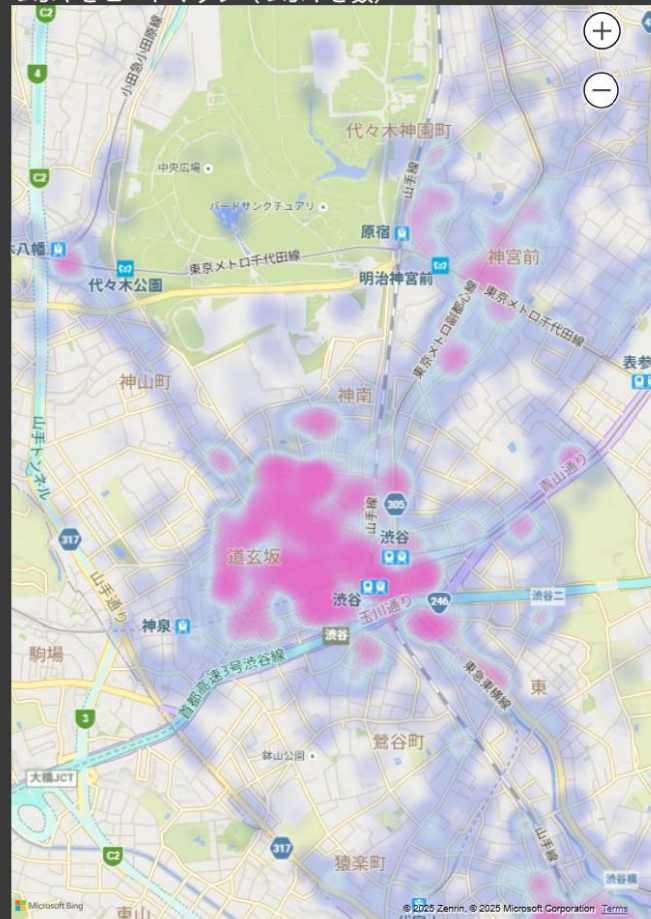
共創事例 SNS投稿による街の状態把握

Co-Creation in Action

SNSつぶやき感情分析 - ボリューム・トレンド -

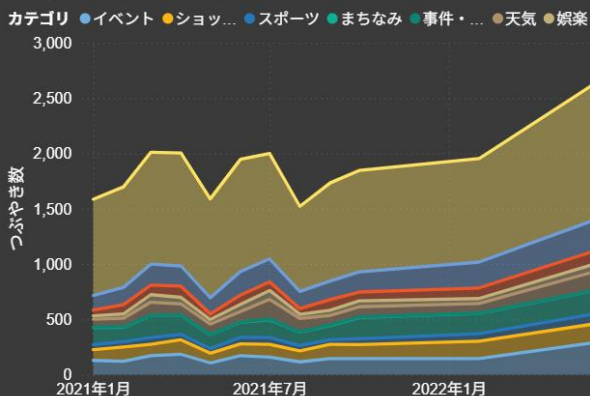
- カテゴリ
- イベント
 - ショッピング
 - スポーツ
 - まちなみ
 - 事件・報道
 - 天気
 - 娯楽
 - 文化・芸術
 - 音楽
 - 飲食

つぶやきヒートマップ (つぶやき数)

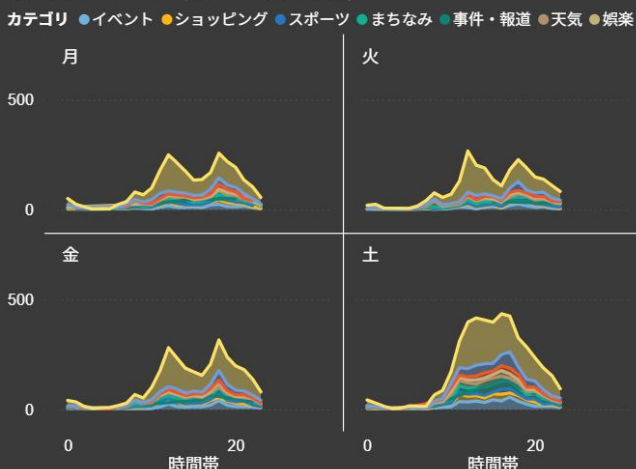


※地図の見方
つぶやき数の多さ：ピンク>水色>青

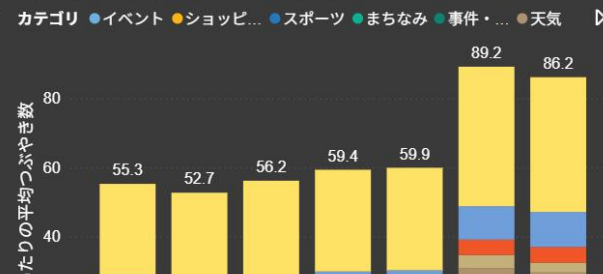
つぶやき数推移 (月別)



つぶやき数推移 (曜日・時間帯別)



1日あたりのつぶやき数 (曜日別)



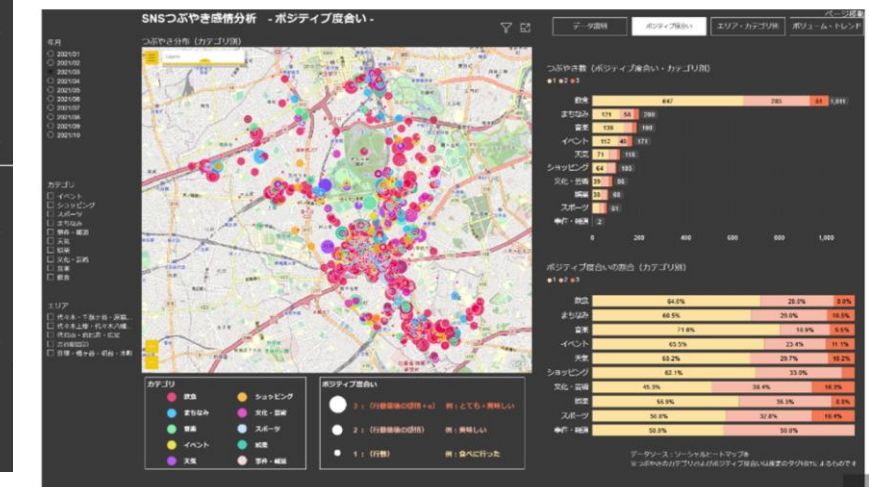
TAKENAKA 建築作品 ソリューション 会社情報 サステナビリティ ライブラリ 採用情報 竹中のデザイン Search

シティダッシュボード

ソーシャルヒートマップのデータが渋谷区のシティダッシュボード*1に採用されました。“ひとの想い”のうち、感情度からまちの特徴・特性を定量的に把握できるツールとして、区内における“アメニティ性や生活の質”の向上が期待されています。

— 掲載されたデータ (渋谷区ホームページ) をご覧ください。

※ 1 シティダッシュボード：渋谷区にかかわる多様な人々がデータを共に活用し、課題解決や施策立案につなげるため、渋谷区の置かれている現状をグラフや地図等で可視化するデータ基盤です。



シティダッシュボード画面の一例

自治体が提供できる価値

Our Assets

行政しか開けない実証・調査フィールド

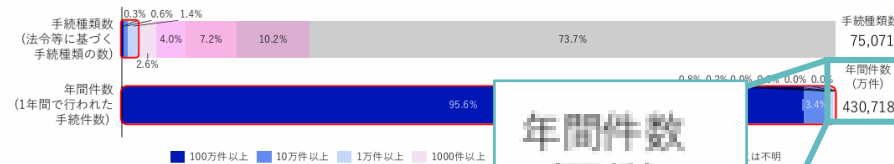


「行政」というインパクトと特殊性



手続種類数と年間件数の関係

- 年間件数が1万件以上の手続種類数は全体の2.3%だが、全ての手続種類数の年間件数の全体の99.8%を占めている。
- 年間件数が100万件以上の手続では、オンライン化率、オンライン利用率ともに8割を超える。
- 一方、100万件未満では、オンライン化率は約6割~7割に及ぶものの、オンライン利用率は5~6割台に止まる。



| 手続種類数 | 1手続 | | | | 年間件数 (万件) | 総計 |
|---|---------|--------|-------|-------|------------------|----|
| | 100万件以上 | 10万件以上 | 1万件以上 | 1000件 | | |
| 手続種類数 | 217 | 459 | 1,040 | | 75,071 | |
| オンライン化率 (手続の種類数に対してオンライン対応している手続の割合) | 83.9% | 69.5% | 62.6% | | 51.6% (0件又は不明含む) | |
| 年間件数 (万件) (合計) | 411,884 | 14,441 | 3,577 | | 430,718 | |
| オンライン利用率 (オンライン対応している手続の中で、実際にオンラインで処理された年間件数の割合) | 85.2% | 57.3% | 52.2% | | 84.3% | |

なぜ“今”なのか？

Data Visualization in the AI Era

データさえあれば誰もが可視化・分析できる時代に

これまで — データはあるが —

- ❗ データをみても良く分からない
- ❗ 専門知識のある人しか分析できない

これから — 生成AIの登場により —

- ✓ 簡単な指示でダッシュボードの作成が可能
- ✓ 調べたいものを自由に誰もが可視化できる

AIの登場で「データ」そのものの存在が価値になる。

なぜ“今”なのか？

Data Visualization in the AI Era

データさえあれば誰もが可視化・分析できる時代に

都市データ活用推進主査では、「渋谷区のデータを使って誰でも自由にダッシュボードを作れるサービス」の提供を計画中。
(以下は構築中のプロトタイプ画面)



なぜ“今”なのか？

Data Visualization in the AI Era

AIの登場で「データ」そのものの存在が価値になる。

！ ただし、単独のデータではその可能性は限られる



東京データプラットフォーム(TDPF)とは、

- 流れる** 東京都の主導（＝安全・安心の価値提供）の下、公共や民間などのデータが流通する場を提供し、
- つながる** データを提供する人・利用する人などがつながるコミュニティの形成と、より多くのデータ・人の集積により新たなデータ利活用事例の創出を支援・加速することで
- 進化する** 東京のポテンシャルを引き出し、都民のQOL向上に資するデータ利活用の好循環を生み出すしくみです。

“データ”は掛け合わせで“価値”になる

みなさんがお持ちのデータの価値を渋谷区と証明してみませんか？



Co-Creation with Data

02

Appendix

Appendix

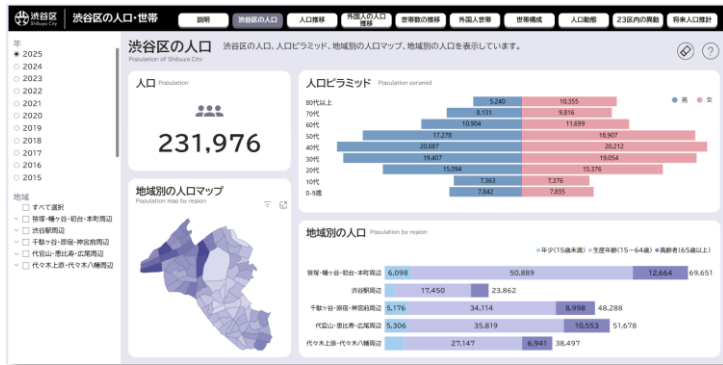
スマートシティ推進事業

Our Project

1

区の現状をデータで把握・共有

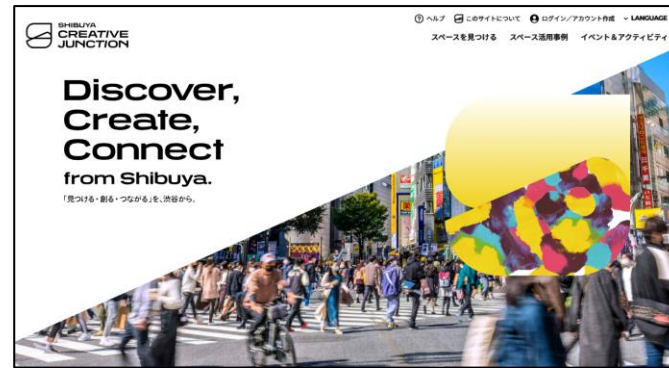
オープンデータ・
シティダッシュボード



2

官民連携で
まちなかを挑戦の場に

都市空間データの
サービス化



3

産官学民連携を通じて
都市の未来を共創する

渋谷国際都市共創機構
Shibuya Innovation Institute



都市の可能性を引き出すスマートシティプラットフォーム

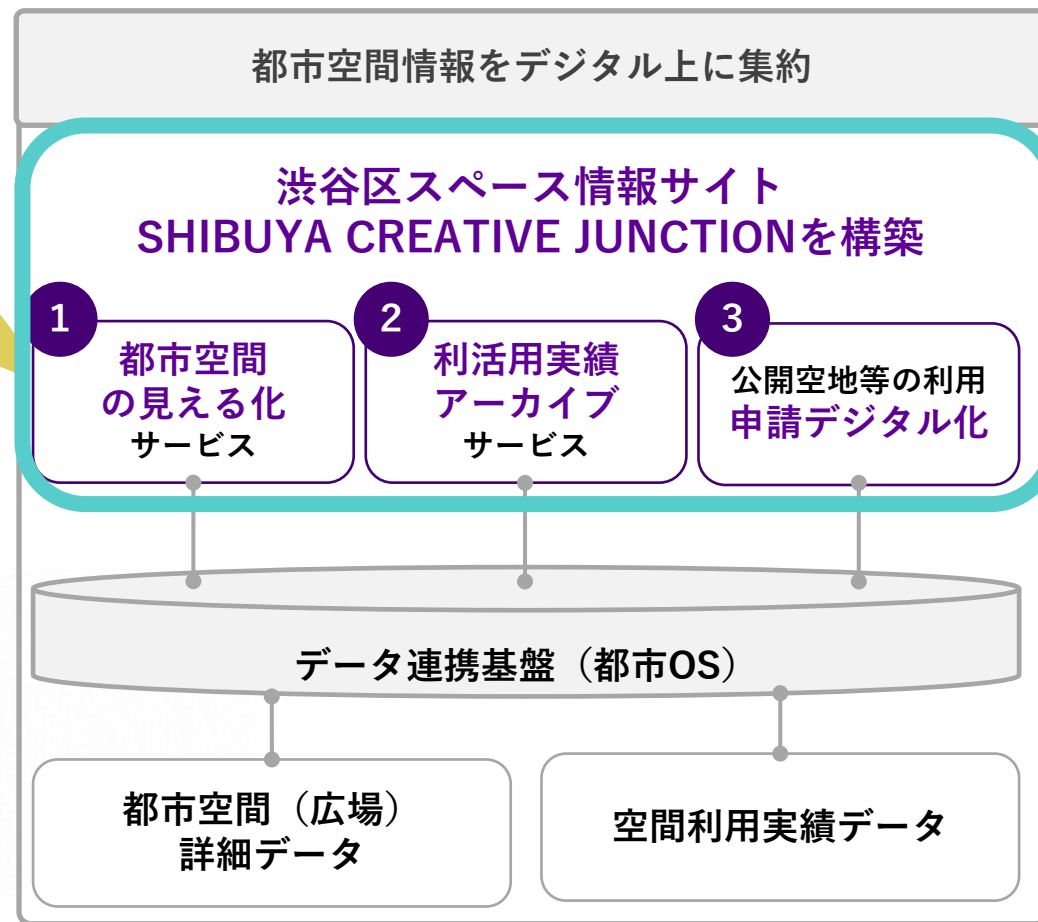
SHIBUYA CREATIVE JUNCTION

- 都市空間情報を検索・閲覧し、利用申請をできるサービスを開発することにより、
- 多様なプレイヤーによる空間活用を促し、官民連携での協働型まちづくりを実現していく。



空間 利用者

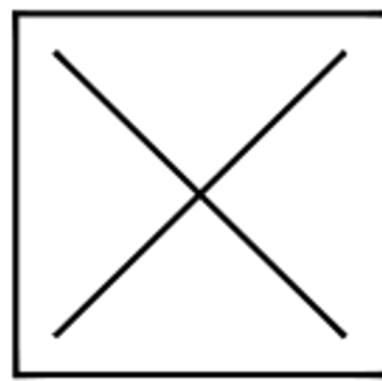
- わかりやすい！
- 使いやすい！
- 挑戦しやすい！



空間 管理者

- 現状が分かる！
- 検証や企画に使える！
- 魅力を発信しやすい！

渋谷



ちがいを
ちからに
変える街

アインPay×データを起点とした 地域循環・行政DX・市民参加の推進

東村山市 地域創生部 シティセールス課

阿部 拓海 氏

**アインPay×データを起点とした
地域循環・行政DX・市民参加の推進**

東村山市

令和8年6月11日

所属：東村山市地域創生部シティセールス課

業務内容

- 1, シティプロモーションに関すること**
- 2, 観光の促進に関すること**

具体的には…

- ・ **デジタル地域通貨 東村山アインPay**
- ・ **観光プロモーション施策**
- ・ **菖蒲まつり、東村山駅開業130周年イベント**
- ・ **個人版ふるさと納税/企業版ふるさと納税**
- ・ **フィルムコミッション**
- ・ **移住・定住**
- ・ **地域ライターの育成**
- ・ **統合報告書の発行**
- ・ **古民家活用によるコミュニティ創出事業**
- ・ **公式キャラクターひがっしー関連 など**

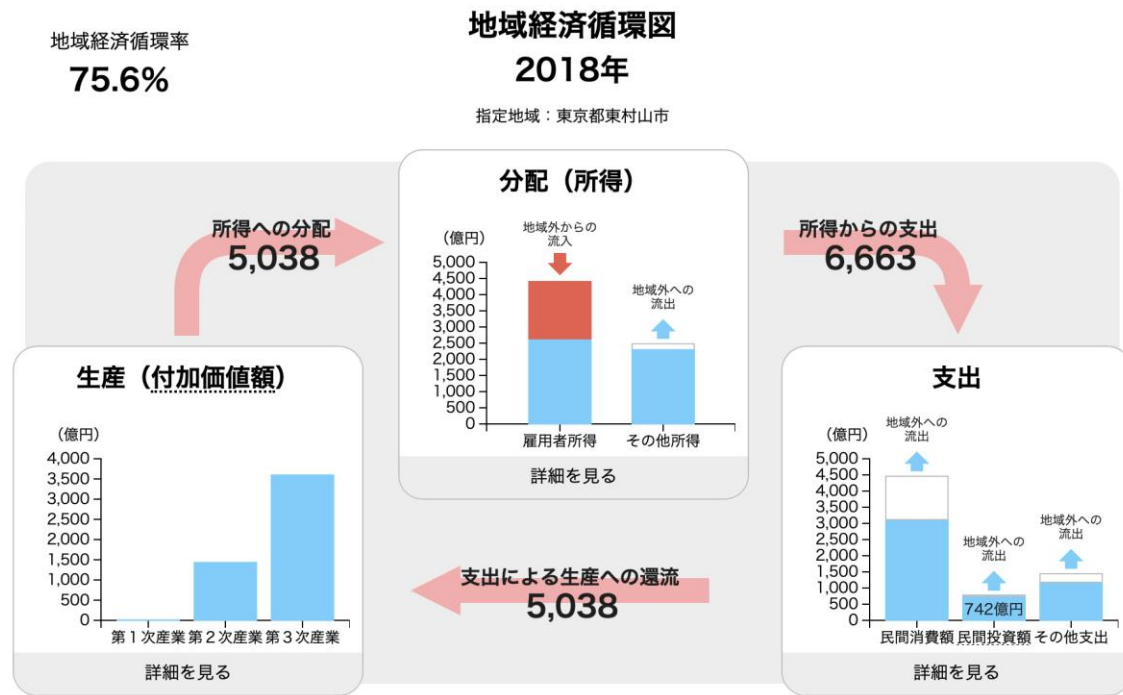


ひがっしー

地域課題①

●課題

地域経済循環率は75.6%（都内62市町村中43位、都内26市中18位）と低い。
 地域・自治体として持続可能性を高めるためには、地域経済循環率を高める必要があります。
 （東村山市に隣接する自治体を見ると小平市77.7%、東大和市67.8%、清瀬市68.4%、東久留米市79.1%と、類似地勢の自治体で同様の課題があると言えます）



付加価値額（一人当たり）
2018年

指定地域：東京都東村山市

| | 第1次産業 | 第2次産業 | 第3次産業 |
|----------------|-------|---------|---------|
| 付加価値額（一人当たり） | 337万円 | 2,012万円 | 1,102万円 |
| 付加価値額（一人当たり）順位 | 541位 | 88位 | 127位 |

所得（一人当たり）
2018年

指定地域：東京都東村山市

| | 雇用者所得 | その他所得 |
|-------------|-------|--------|
| 所得（一人当たり） | 293万円 | 150万円 |
| 所得（一人当たり）順位 | 118位 | 1,633位 |

支出流出率
2018年

指定地域：東京都東村山市

| | 民間消費 | 民間投資 | その他支出 |
|---------|--------|-------|--------|
| 支出流出率 | -30.1% | -2.8% | -18.2% |
| 支出流出率順位 | 1,592位 | 520位 | 409位 |

地域経済循環率の低さをどのように捉えているか？
 東村山市は、住宅都市としての成り立ちから、都心アクセスがいい一方で、就労や消費が都心に依存している。
 このため市民による市内での社会経済活動が起こりにくく、地域経済循環率が低い状況となっていると分析している。

※「東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～基本構想」抜粋

「東村山市の事業所は、半数以上が1～4人と小規模であり、業種では卸売業や小売業が多くなっています。また、従業者は、医療、福祉関係の割合が高く、東村山市の特徴といえます」

「地域経済の自立度を示す地域経済循環率を見ると、多摩地域26市中20番目と低く、就労と消費の両面を市外に依存する傾向が強いまちとなっています」

※「令和元年度市民意識調査」

市外に移り住みたい理由の第1位に「買い物の便が良くない」などが挙げられている。
 また、転出者の「転居先を選んだ決め手」としての「買物利便性」と回答する者が50代以下の現役層で概ね30%以上と高い水準となっている。

【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

課題解決策

課題の抽出・実証実験・課題の解決へ向けて

- 民間事業者提案制度の採択提案に基づく実証実験

● 課題

移動

- 交通の便がよくない地域が点在
- 交通と買物の便の悪さから転居したいと感じている人が多い

※富士見町は、市の人口の1割、少子高齢化も進展

経済

- 市民消費の約40%は市外流出
- 域内消費は全国最低水準（1,719自治体中1,684位）

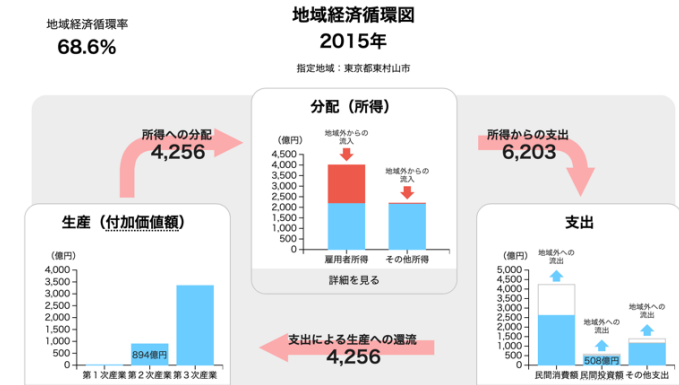
● 実証実験

地域内をヒトが自由に移動でき、地域内でカネが回る仕組みを実証実験

- ① 無償交通サービスで地域内のヒトの移動の自由度を高める
- ② デジタル地域ポイントで地域内でカネが回りやすくする

- 対象者…富士見町在住者
- 運行エリア…富士見町・美住町・栄町3丁目・廻田町2丁目
- 利用場所…市内の協力店

緊急事態宣言
により中止



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
地域経済循環分析<http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>



課題解決策

PayPayでの還元事業

- PayPay還元事業により月間決済は2倍以上引き上げられ、キャンペーン終了後も利用は1.6倍ほど増加し定着している。

- コード決済による市内消費(月8億円、年95億円)を誘導できる土壌がある。

● 店舗数

- 第1弾 開始時点 531店舗 → 終了時点 647店舗 (+116店舗)
- 第2弾 開始時点 804店舗 → 終了時点 865店舗 (+ 61店舗)
- 第3弾 開始時点 858店舗 → 終了時点 875店舗 (+ 17店舗)

● 決済金額

※キャンペーン開始前の3か月(第3弾は2か月)+期間中

- 第1弾 8,700万円 → 3億4,500万円 (4倍)
- 第2弾 2億1,100万円 → 5億2,300万円 (2.5倍)
- 第3弾 2億3,600万円 → 6億6,000万円 (2.8倍)

● 課題意識

Pay Payによる経済対策の効果はあるが、民間主導のデジタル決済サービスを用いているため、取得データを活用することに制限などがある。

参考

東村山市の商店会 ※2022年時点

| | |
|-------|-----|
| 商店会 | 18 |
| 加入店舗数 | 611 |

東村山市商工会

会員総数 1,444

東村山ドリームスタンプ ※HPより

加盟店数 97

さるぼぼコイン加盟店

2019年開始時 約 100

2022年時点 約1,900

東村山アインPayー地域の人みんなで共に育む地域通貨アプリ

地域の人みんなで
共に育む地域通貨アプリ



加盟店申込はこちら



加盟店

- アインPayアプリの販促・プロモーションでの活用
- 機構との販促・キャンペーン等での連携
- アインPay利用データの活用

利用者

- アインPayで市内でお得にお買い物
- デジタル化の促進
- 新たなコミュニティの構築

ダウンロード

iOS端末のかた



Android端末のかた



チャージ



チャージ機
or
オンラインチャージ

お店で決済



コードを読み取って、「アイン♪」と決済

コードを読み取って、「アイン♪」と簡単に決済



ユーザーのメリット

チャージで還元

- ・専用チャージ機のチャージで1%のポイント還元！
（キャンペーン時は1.5%の還元など実施！）

行政ポイントの付与

- ・自転車のヘルメット購入費補助や住宅修築費の補助をインPayポイントで実施
- ・アンケートの回答でポイント付与
- ・イベントでのガラポンなどでポイント付与

おトクなキャンペーンの実施

- ・R7年度は10%のポイント還元や、20%のポイント還元キャンペーンを実施
- ・加盟店での決済では、どの決済アプリよりもおトクに利用できます
- ・R8年度も還元キャンペーンを実施

使うことで地域に貢献

- ・利用することで地域内経済循環に寄与

加盟店様のメリット

 導入が簡単

 現金管理のリスク・コストの
軽減

 集客・販売促進を強化

 格安な換金手数料

- 専用チャージ機のチャージで1%の
ポイント還元があるので購買意欲が
高まります
- 10%の還元キャンペーンなど定期的
にキャンペーンを実施するため、他
のコード決済よりおトク
- 付与された行政ポイントを加盟店で
決済

- 大手コード決済に比べお得な
税込1.98%の換金手数料
(東村山市商工会加盟の場合
は税込1.7%)

アインPay利用状況について（2026年3月31日現在）

■ 加盟店獲得

■ 加盟店数：**542件**（前年度末比+72件、年度末目標：800件、進捗率**21.8%**）

■ 利用者獲得

■ ダウンロード数：**31,630**（前年度末比+8,838、年度末目標：30,000、進捗率**122.6%**）

■ 発行・利用状況

■ 累計発行額：約**23億9,549万**（前年度末比+9億0,591万、年間目標：12億、進捗率**75.5%**）

（内訳）加盟店累計決済額：約**22億8,301万**（年度当初比+9億1,389万、年間目標：12億、進捗率**76.2%**）

（内訳）ユーザ保有残額：約**1億1,248万**（年度当初比-798万）

■ つかうとカエルキャンペーン実施状況

3回（第7弾～第9弾）実施

| | 期間 | 還元率 | 上限額 | 決済利用額 | 1日平均決済額 | 期間前比 |
|-----|----------------------------------|-----|--------|----------|----------|---------|
| 第7弾 | 2025/10/18(土)～ 2024/11/16(日) | 10% | 10,000 | 1億2,900万 | 430万/日 | +457% |
| | | | | | 61万/日 | |
| 第8弾 | 2025/12/15(月)～ 2025/12/31(水)※ | 20% | 50,000 | 2億7,200万 | 1,600万/日 | +2,513% |
| | | | | | 140万/日 | |
| 第9弾 | 2026/3/1(日)～ 2026/3/20(金)※ | 15% | 15,000 | 1億8,600万 | 930万/日 | +554% |
| | | | | | 150万/日 | |

三か年の計画

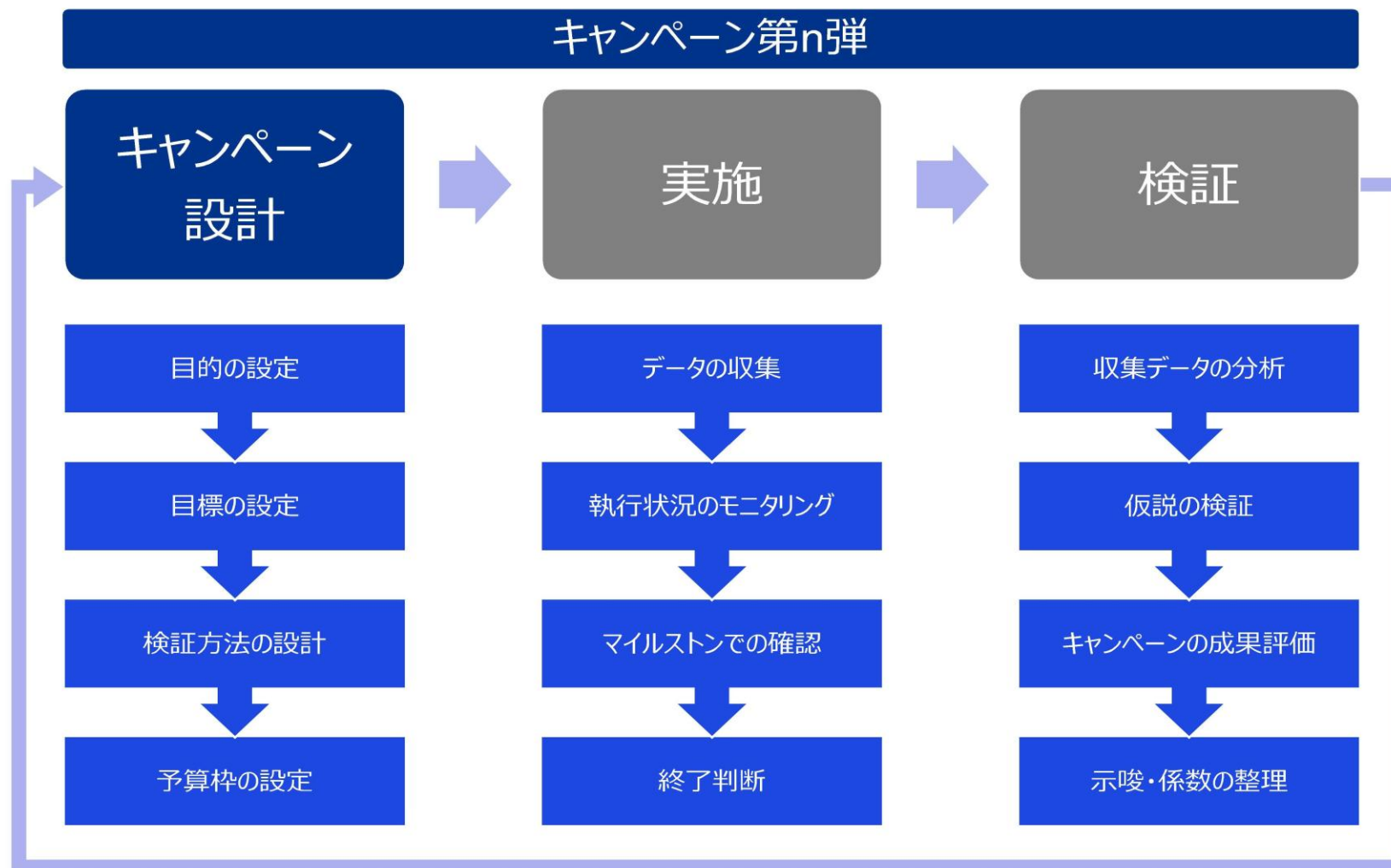
- 今年度は市民生活に浸透させ、マーケットを広げる。今年度日常に定着させ、3か年での自立を目指す



アインPayのキャンペーンごとのデータを取得・活用し、次回の設計に活かす。

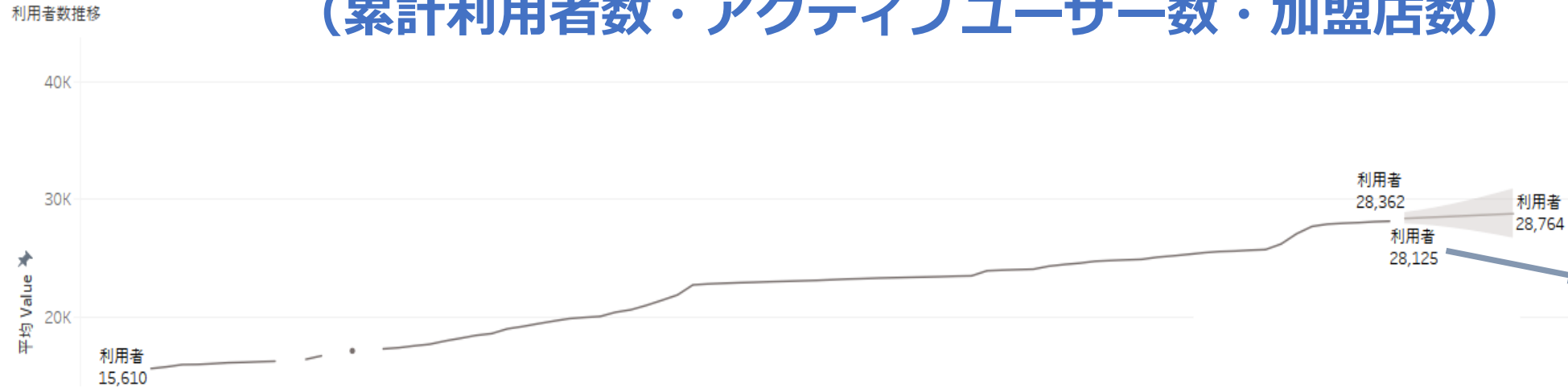
2024（令和6）年度におけるキャンペーンの実施

キャンペーン実施にあたっては、目的を明確にしたキャンペーンの設計に基づき、取得したデータで評価し、次のキャンペーンで活用可能な定性的示唆、定量的係数を取得する



利用状況状況について

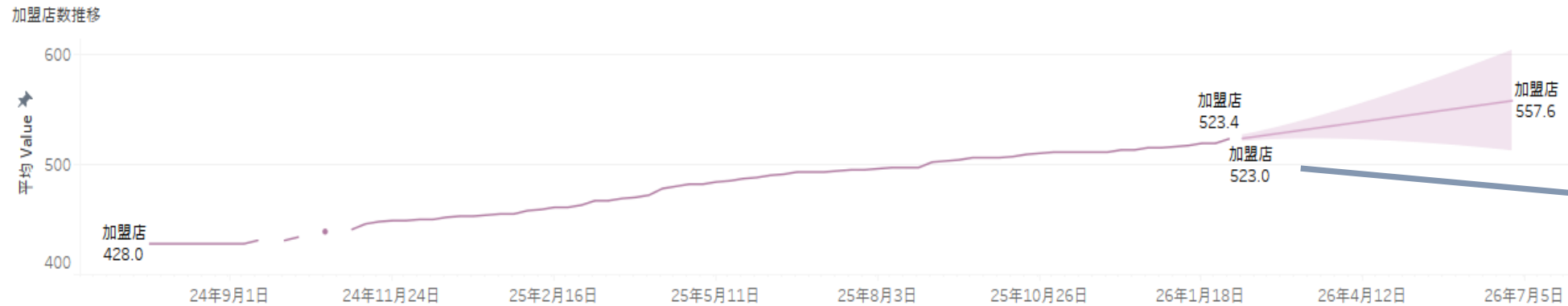
(累計利用者数・アクティブユーザー数・加盟店数)



目標のDL数30,000は達成の見込み



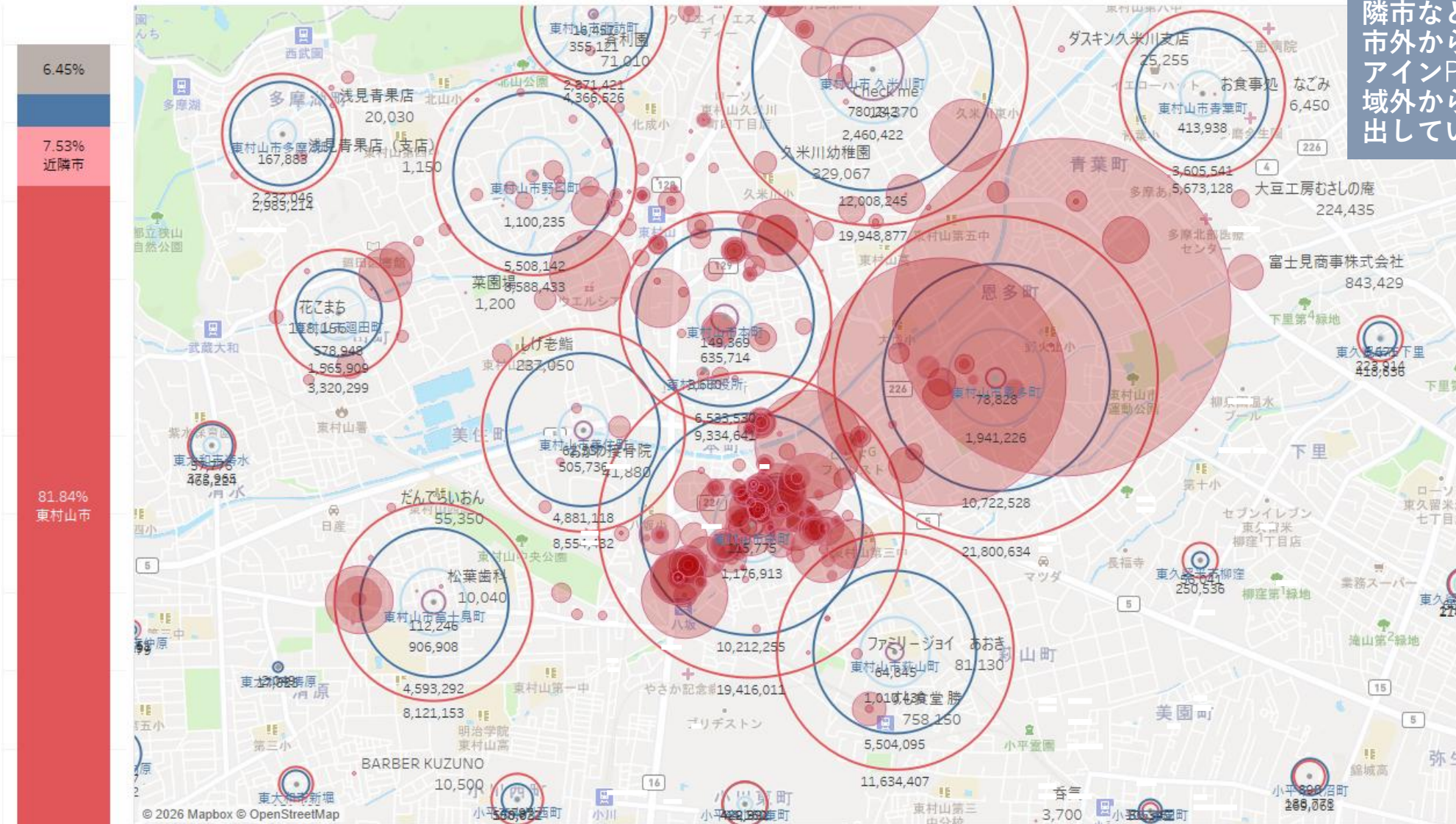
還元キャンペーン時は利用者が増加するものの、還元キャンペーン以外での恒常的な利用増が課題



加盟店数の獲得にてこ入れが必要

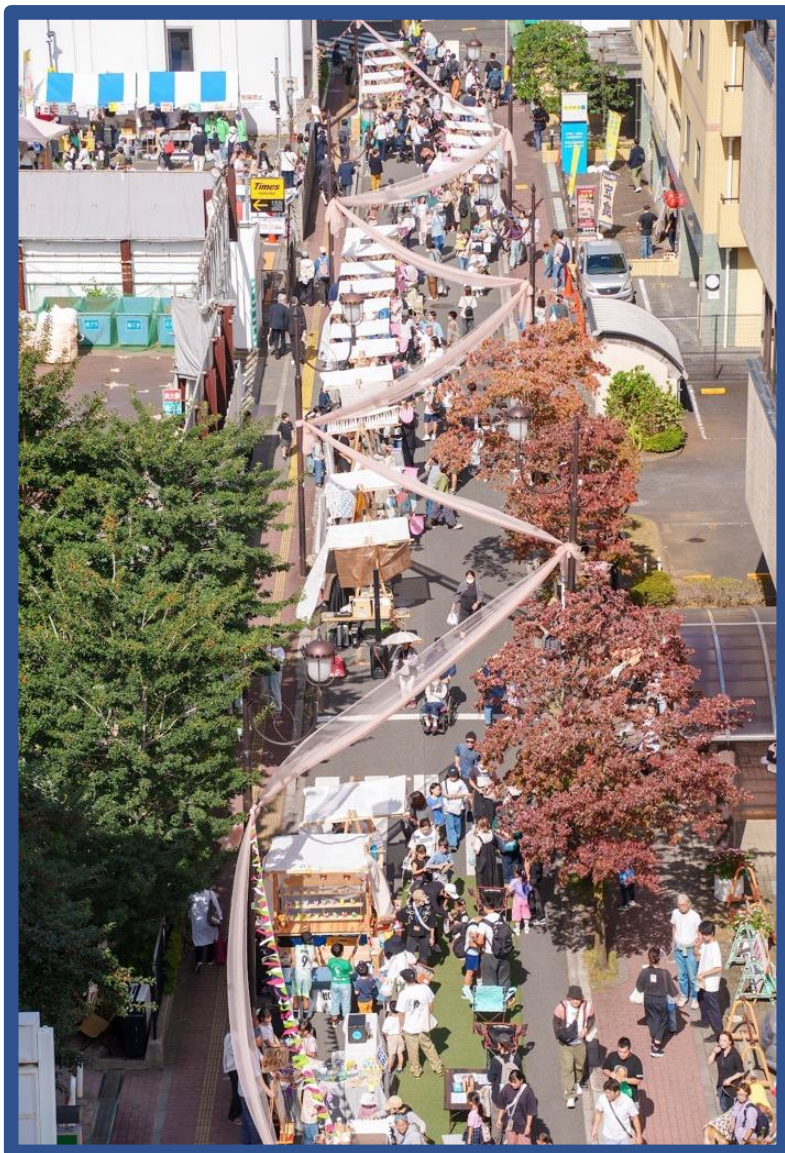
利用者の市内外の比率

市内外比 CustomerSales_Map--加盟店:すべて



利用者の基本は市民だが、近隣市などの市外の利用もあり、市外から東村山市に訪れて、**アインPay**を利用することで、域外からの経済波及効果を創出している。

東村山市はマルシェイベントやマーケットイベントが多いため、積極的に
アインPayでも連動して、特別なキャンペーンを行い、露出を増やしてい
くことを実施しています。



イベントでアインPay
の連動キャンペーンを
実施するときに、アプ
リ内プッシュ通知やチ
ラシ・ポスター・HP・
SNS等での周知を実施。

【10月18日に開催した東村山駅開業130周年記念イベント】

チャージ機も設置し、アインPayが使える多くのお店が出店。アインPayマルシェ同様にお買い物ごとにガラポンでポイントが当たるなどを実施し、ユーザーとコミュニケーションをとれる機会も創出。

リアルイベントとして、アインPayが使える加盟店のみを集めたアインPayマルシェも開催

東村山市が抱えている課題

- 東村山市では、地域イベント、商店、農産物直売所など多様な地域資源がある一方で、情報が分散しており、来訪者や市民に分かりやすく届けきれていないことが課題である。
- また、来訪目的や興味関心、現在地などに応じて、最適な店舗、イベント、回遊ルートを案内する仕組みが十分でないため、地域の魅力が回遊や消費につながりにくい。
- 今後は、アインPayの加盟店や地域イベントとも連動しながら、利用者ごとに最適な案内を行える仕組みを強化していきたい。

交流会に向けたマッチング期待

- アインPayの利用促進につながるソリューション
- 観光分野でのソリューション
- 幅広く地域活性化につながるソリューション

ご清聴ありがとうございました。

東村山市

